



# ウェブペイメントプラス インテグレーションガイド

日本

---

## ウェブペイメントプラス インテグレーションガイド

文書番号 : 10114.en\_US-201308

© 1999 - 2014 PayPal, Inc. All rights reserved. PayPal は、PayPal, Inc. の登録商標です。PayPal ロゴは、PayPal, Inc. の商標です。その他の商標およびブランドは、それぞれの所有者に所有権が属します。

この文書の情報は PayPal, Inc. に属します。PayPal, Inc. の書面による承認なしに情報を使用、再生、開示することはできません。

Copyright © PayPal. All rights reserved. PayPal (Europe) S.à r.l. et Cie., S.C.A., Société en Commandite par Actions. Registered office: 22-24 Boulevard Royal, L-2449, Luxembourg, R.C.S. Luxembourg B 118 349.

消費者の皆様へのご注意 : PayPal™ 決済サービスは、シンガポール法上ではストアドバリュー設備とみなされています。よってシンガポール通貨金融庁（Monetary Authority of Singapore）の承認を必要としません。ご利用の際には、契約条件をよくご確認ください。

### 免責の告知 :

PayPal, Inc. はこの文書の情報を過失も含めて現状のまま提供しています。PayPal, Inc. はここに含まれる情報についていかなる種類（明示、暗示、法定）の保証もいたしません。PayPal, Inc. は、間違いや脱落を原因とする、あるいはこの文書またはこの文書に含まれる情報の使用の結果生じる、あるいはここに記載されている製品またはサービスの適用または使用の結果生じる損害（直接、間接）に対していかなる責任も負わないものとします。PayPal, Inc. は、ここに記載されているいかなる情報を予告なしに変更する権利を留保します。

# 目次

<b>はじめに</b>	7
このガイドについて	7
対象	7
改訂履歴	8
マニュアルのフィードバック	9
<b>1章 ウェブペイメントプラスの利用を開始</b>	11
概要	11
機能とメリット	11
ウェブペイメントプラスのしくみ	12
PayPal エクスプレス チェックアウト取引処理	13
ウェブペイメントプラスの実装の開始	14
<b>2章 HTML を使用したウェブサイトのインテグレーション</b>	15
シンプルなウェブペイメントプラス実装	15
実装の例	16
HTML 変数 ( 支払いページの設定 )	17
<b>3章 PayPal 支払いページのカスタマイズ</b>	21
PayPal アカウント設定の変更	22
設定	23
カスタマイズ	31
モバイル最適化支払いフロー	37
支払いページの外観に使用する HTML 変数	39
<b>4章 ウェブサイトへの iFrame の実装</b>	43
iFrame の実装	44
手動インテグレーション	44
API インテグレーション	46
<b>5章 API を使用したウェブサイトの実装</b>	49

ボタンのホスティング . . . . .	49
ウェブペイメントプラスの支払いでのボタンマネージャ API の使用 . . . . .	50
レスポンスで返される URL の使用 ( 推奨 ) . . . . .	50
Form POST の使用 . . . . .	51
公開 / 秘密鍵を使ったボタンの暗号化 . . . . .	53
ウェブペイメントプラスの支払い開始の例 . . . . .	53
BMCreateButton API オペレーション . . . . .	55
BMCreateButton リクエスト . . . . .	55
BMCreateButton レスポンス . . . . .	56
BMCreateButton エラー . . . . .	56
<b>6 章 Sandbox でのインテグレーションのテスト . . . . .</b>	<b>57</b>
Sandbox アカウントの信用証明書 . . . . .	57
インテグレーションと設定のテスト . . . . .	60
実装のテスト . . . . .	60
設定のテスト . . . . .	61
<b>7 章 注文処理 . . . . .</b>	<b>63</b>
取引のステータスと信頼性の検証 . . . . .	63
即時支払い通知 (IPN) の検証 . . . . .	64
GetTransactionDetails API コールの実行 . . . . .	65
注文対応 . . . . .	65
<b>8 章 暗号化されたウェブペイメントを使用したボタンの保護 . . . . .</b>	<b>67</b>
暗号化されたウェブペイメントで使用される公開鍵暗号 . . . . .	68
暗号化されたウェブペイメントを使用する前に証明書を設定する . . . . .	68
OpenSSL を使用した秘密鍵の生成 . . . . .	69
OpenSSL を使用した公開鍵証明書の生成 . . . . .	69
PayPal アカウントへの公開鍵証明書のアップロード . . . . .	69
PayPal ウェブサイトからの PayPal 公開鍵証明書のダウンロード . . . . .	71
公開鍵証明書の削除 . . . . .	71
暗号化されたウェブペイメントを使用して支払いボタンを保護する . . . . .	72
保護および暗号化されていないウェブペイメントの拒否 . . . . .	73
<b>付録 A オプションの API オペレーション . . . . .</b>	<b>75</b>
GetTransactionDetails API . . . . .	75
GetTransactionDetails リクエスト . . . . .	75

GetTransactionDetails レスポンス . . . . .	76
RefundTransaction API . . . . .	85
RefundTransaction リクエスト . . . . .	85
RefundTransaction レスポンス . . . . .	86
DoCapture API . . . . .	86
DoCapture リクエスト . . . . .	86
DoCapture レスポンス . . . . .	89
<b>付録 B ウェブペイメントスタンダードからウェブペイメントプラスへの移行 . . . . .</b>	<b>93</b>
サンプルコードの比較 . . . . .	94
<b>付録 C エラーメッセージ . . . . .</b>	<b>97</b>
<b>付録 D 通貨コード . . . . .</b>	<b>99</b>



# はじめに

---

## このガイドについて

ウェブペイメントプラス インテグレーションガイドでは、ウェブペイメントプラスの実装方法について説明します。以下の情報が含まれます。

- ウェブペイメントプラスの機能とメリット
- ウェブペイメントスタンダードからウェブペイメントプラスへの移行。
- ウェブサイトへのウェブペイメントプラスの実装。
- ホストされた支払いページのカスタマイズ。
- Sandbox テスト環境での実装のテスト
- 注文に対応する前の取引のステータスと信頼性の検証

---

## 対象

このガイドは、ウェブペイメントプラスを実装してウェブサイトに取引処理機能を追加したいと考えているマーチャントおよび開発者向けです。

ウェブペイメントプラスは、米国ではご利用になれません。下表に記載された国または地域でのみご利用になれます。製品名は国または地域によって異なる場合があります。

国	製品名
オーストラリア	Website Payments Pro Hosted Solution
フランス	PayPal Intégral Evolution
香港	Website Payments Pro Hosted Solution
シンガポール	Website Payments Pro Hosted Solution
イタリア	PayPal Pro
日本	ウェブペイメントプラス
スペイン	Pasarela Integral
英国	Website Payments Pro Hosted Solution

詳細については以下を参照してください

<https://developer.paypal.com/webapps/developer/docs/classic/products/website-payments-pro-hosted-solution/>

## 改訂履歴

改訂履歴: ウェブペイメントプラス インテグレーションガイド

表 0.1 改訂履歴

日付	説明
2014年5月	ガイド全体で、例で使用するセキュアな決済URLが更新されました。 すべての例から s-xclick コマンドが削除され、HSS の代わりに HSSS を使用するためのホスト型ボタンID例も更新されました。
2013年10月	ウェブサイトへの iFrame の実装の対応ブラウザリストが更新されました。
2013年8月	Sandbox でのインテグレーションのテストおよびエラーメッセージの章が更新されました。 <a href="#">HTML 変数(支払いページの設定)</a> の言語コード 1c のリクエストフィールドの可能値が更新されました。 各取引IDを復帰 URL に付加する PayPal アカウントの設定の <a href="#">取引のステータスと信頼性の検証</a> に注が追加されました。 内容と URL が更新されました。
2013年2月	モバイル最適化支払いフローにセクションが追加されました。 表 <a href="#">支払いページの外観に使用する HTML 変数</a> の template HTML 変数の値が更新されました。 第 <a href="#">ウェブサイトへの iFrame の実装</a> 章に、モバイル最適化支払いページに関する情報が追加されました。
2012年10月	第 <a href="#">PayPal 支払いページのカスタマイズ</a> 章に、支払いページのカスタマイズに関する新機能の説明が追加されました。
2012年8月	対象セクションが更新されました。 例の中の終点が更新されました。
2012年7月	サポート終了予定の HTML 変数 shopping_url への参照が削除されました
2012年6月	<ul style="list-style-type: none"><li>HTML 変数(<a href="#">支払いページの設定</a>)セクションの請求先住所フィールドの要件が更新されました。</li><li>文字制限に関する注意が、<a href="#">HTML 変数(支払いページの設定)</a>、<a href="#">支払いページの外観に使用する HTML 変数</a>、および <a href="#">BMCreateButton API オペレーション</a> の各セクションに追加されました。</li><li>2 章および 5 章の HTML のサンプルが訂正されました。</li></ul>
2012年5月	iFrame に対応するブラウザ一覧に IE9 が追加されました。

---

## マニュアルのフィードバック

このガイドを向上させるため、次の宛先へフィードバックをお送りください：

[documentationfeedback@paypal.com](mailto:documentationfeedback@paypal.com)

# はじめに

## マニュアルのフィードバック

# 1

# ウェブペイメントプラスの利用を開始

---

## 概要

ウェブペイメントプラスは、カードまたはPayPalアカウントを資金源とする支払いをマーチャントが受け取ることのできる、決済プラットフォームです。このソリューションはPayPalがホストしています。クレジットカード情報を自社のウェブサイトで取得したり保存したりする必要がないため、PCIコンプライアンスへの対応に役立ちます。

ウェブペイメントプラスは、すべての財務情報がPayPalによって処理されるソリューションを希望するマーチャントに適しています。

PayPalでは、ウェブペイメントプラスに加えてPayPalエクスプレス チェックアウトボタンをウェブサイトに導入することをおすすめしています。ボタンは支払いフローの早い段階で表示され、既存のPayPalアカウント所有者にPayPalを使用する機会を提供し、これによって取引の完了率が高くなります。

---

## 機能とメリット

ウェブペイメントプラスには以下の機能および特典があります。

- **PCIコンプライアンス** - 支払いカード業界(PCI)のデータセキュリティ基準は、世界的なセキュリティ基準で、カード所有者情報を収集、保存、処理、転送するすべての事業に適用されます。PayPalのホスト型支払いページを、自社の事業のPCIコンプライアンスソリューションの一部として使うことができます。

**注：** ウェブペイメントプラスの導入は PCI コンプライアンスへの対応に有効ですが、必ずしもそれを保証するものではありません。

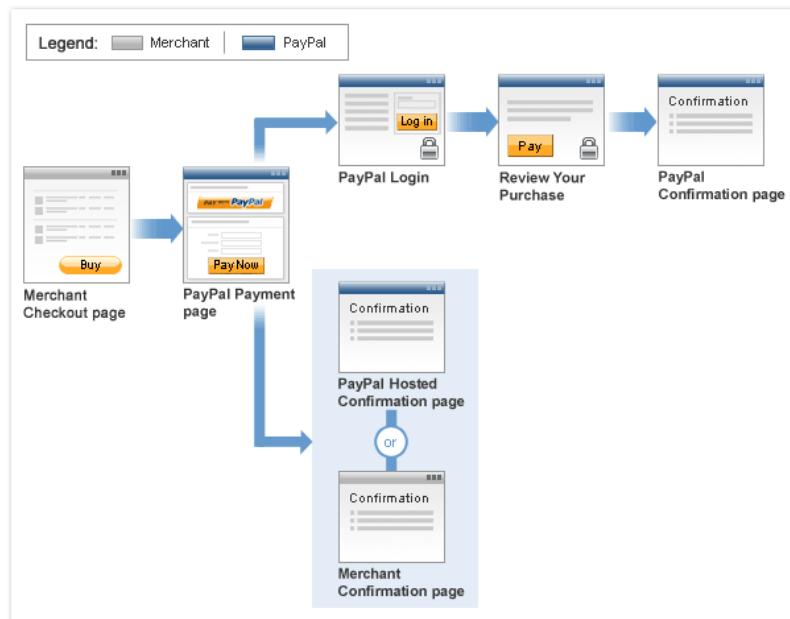
- **iFrameのサポート** - PayPalでは、ウェブサイトにiFrameを実装できるコンパクト支払いフォームを用意しています。買い手はマーチャントのウェブサイトで支払いを完了し、マーチャントはコンパクトフォームを囲むマスターフレームを維持できます。クレジットカードフィールドはコンパクトフォームの一部なので、この情報を別に収集する必要はありません。詳細については、“[ウェブサイトへのiFrameの実装](#)”(43ページ)を参照してください。
- **バーキャルターミナル** - PayPalがホストするオンライン支払いフォームで、電話、ファックス、および郵便による注文を、すべての主要なクレジットカードで受け付けることができます。
- **PayPalエクスプレス チェックアウト** - PayPalアカウント保有者向けの、2クリックの支払いオプションです。詳細については、“[PayPalエクスプレス チェックアウト取引処理](#)”(13ページ)を参照してください。

## ウェブペイメントプラスの利用を開始

### ウェブペイメントプラスのしくみ

- 主要なクレジット/デビットカードに対応 - は Visa、MasterCard、JCB に対応しています。
- モバイルサポート - ウェブペイメントプラスの支払いページは、デスクトップおよびモバイルの両方のブラウザ向けに最適化されています。詳細については、“[モバイル最適化支払いフロー](#)”(37 ページ) を参照してください。

### ウェブペイメントプラスのしくみ



上の図で、上部のフローは PayPal アカウントを使って支払う場合、下部のフローはカードを使って支払う場合です。

#### ウェブサイトにウェブペイメントプラスを実装する方法

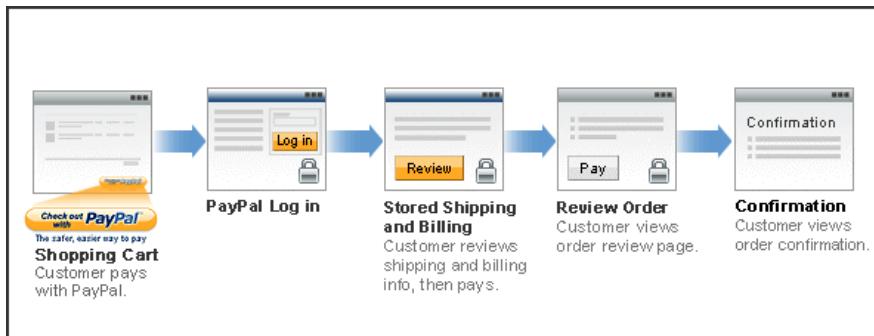
1. HTML または API ソリューションを使って、自社のウェブサイトの支払いフローにボタンを生成します。ボタンには「支払い」、「購入」といったラベルを付けます。買い手がこのボタンをクリックすると、買い手は PayPal がホストする支払いページにリダイレクトされます。
2. 支払いページで、買い手はデビットカードまたはクレジットカードの情報を入力し、[今すぐ支払う] ボタンをクリックします。買い手は PayPal アカウントを所有している必要はありませんが、所有している場合にそのアカウントを使うオプションもあります。
3. 取引が正常に終了すると、買い手に PayPal の確認ページが表示されるか、買い手はマーチャントが指定する URL にリダイレクトされます。取引に問題が生じた場合

場合は、エラーメッセージが表示され、買い手はエラーを修正して取引を再試行できます。

マーチャントは支払いページの内容を指定して、その外観が(ロゴを含め)自社のウェブサイトを反映するように構成できます。

## PayPal エクスプレス チェックアウト取引処理

PayPal エクスプレス チェックアウトは、PayPal のプレミアチェックアウトソリューションです。エクスプレス チェックアウトを利用すると、買い手はより簡単に支払いをおこなうことができ、売り手は買い手および全体的なチェックアウトフローのコントロールを保持したまま PayPal を受け付けることができます。買い手は、チェックアウトの際に、PayPal に安全に保存されている配送先情報を使用できるため、マーチャントのサイトでそれらの情報を再度入力する必要はありません。[PayPal で支払う] ボタンは、製品ページとショッピングカートページのいずれにも配置することができ、チェックアウト成立を増やすのに大変有効なツールです。



次の手順は、PayPal エクスプレス チェックアウトのしくみを示しています

1. 買い手は購入する商品をウェブサイトで選択した後、[PayPal で支払う] ボタンをクリックします。
2. 買い手は PayPal サイトにリダイレクトされ、PayPal ログインとパスワードを使ってログインします。
3. ログインしたら、注文概要を確認して [チェックアウトの続行] をクリックし、取引を承認します。
4. 買い手はマーチャントのウェブサイトの確認ページに戻り、注文詳細を確認して取引を送信します。

## ウェブペイメントプラスの利用を開始

### ウェブペイメントプラスの実装の開始

PayPal エクスプレスチェックアウトの詳細については、『[エクスプレスチェックアウト実装ガイド](#)』を参照してください。

---

## ウェブペイメントプラスの実装の開始

ウェブペイメントプラスへの登録が完了したら、次の手順にしたがってを自社のウェブサイトに実装します。

1. ウェブサイトをウェブペイメントプラスに接続します。ウェブサイトの支払いフローの中で、買い手がクリックして支払いを開始する [支払い] または同様のボタンを配置するポイントを決定します。接続には HTML または API を使用できます。このボタンをクリックすると、取引処理のため買い手のブラウザが PayPal の支払いページにリダイレクトされます。インテグレーションの方法に応じて、[15 ページの第2章「HTMLを使用したウェブサイトのインテグレーション」](#) または [49 ページの第5章「APIを使用したウェブサイトの実装」](#) の手順にしたがいます。
2. オプションで、該当する HTML 変数を送るか PayPal アカウント設定を編集することにより、PayPal ホストの支払いページの外観や内容をカスタマイズします。[21 ページの第3章「PayPal 支払いページのカスタマイズ」](#) を参照してください。
3. オプションで、Sandbox 環境でインテグレーションをテストします。この手順については、[57 ページの第6章「Sandbox でのインテグレーションのテスト」](#) で説明します。

# 2

## HTMLを使用したウェブサイトのインテグレーション

この章では、ウェブペイメントプラスを使用する取引処理を開始するためのシンプルな実装方法について説明します。

**注：** PayPal では、シンプルな実装を導入してウェブペイメントプラスに慣れてから、よりカスタマイズした実装を行うことをおすすめします。

シンプルなインテグレーションの一部として、自社の支払いページにデフォルトの設定を取得します。自社のウェブサイトに合わせてページの外観をカスタマイズするには、以下のいずれかの方法を使用します。

- [22ページの「PayPalアカウント設定の変更」](#)の説明にしたがって、「個人設定」セクションで設定を変更します。
- [表 2.1、「支払いページの設定に使用するHTML変数](#)および[表 3.2、「支払いページの外観に使用するHTML変数](#)の説明にしたがって、該当するHTML変数を支払いページに追加します。

**重要：** HTML変数により、個人設定ページに保存している設定が上書きされます。

---

### シンプルなウェブペイメントプラス実装

ウェブサイトにウェブペイメントプラスを実装するには、ウェブサイトの支払いフローの中で、買い手がクリックして支払いを開始するボタンを配置するポイントを決定します。ボタンには「支払いの続行」、「支払い」などのラベルを付け、クリックしたときにPayPalへのForm POSTを実行するよう設定する必要があります。このボタンをクリックすると、買い手のブラウザがPayPal支払いページにリダイレクトされ、買い手はクレジットカードまたはPayPalアカウントを使って支払うことができます。

Form POSTには取引を記述する一連のHTML変数が含まれます。Form POSTで、以下を指定する必要があります。

- `subtotal` - 取引の金額
- `business` - セキュアなマーチャントID(個人設定ページに表示)またはPayPalアカウントに関連付けられているメールアドレス
- `paymentaction` - 取引が、最終販売での支払いなのか、最終販売に対する承認(あとで売り上げる)なのかを示します。

デフォルト通貨はUSDです。また、[表 2.1、「支払いページの設定に使用するHTML変数](#)に一覧表示されているHTML変数から適切なものを指定して支払いページで収集する情報をカスタマイズしたり、[表 3.2、「支払いページの外観に使用するHTML変数](#)のHTML変数を使ってページの外観をカスタマイズしたりできます。支払いが正しく終了すると、買い手にPayPalの確認ページが表示されるか、買い手はマーチャントがその構成で指定するURLにリダイレクトされます。

## HTMLを使用したウェブサイトのインテグレーション

### シンプルなウェブペイメントプラス実装

支払いページからマーチャントのウェブサイトにリダイレクトされる際に、クエリ文字列の復帰 URL に取引 ID が付加されます。この取引 ID は、ステータスを取得して取引の信頼性を検証するのに使用できます。注文に対応する前に取引の信頼性を検証する方法については、[63 ページの第 7 章「注文処理」](#) を参照してください。

### 実装の例

次に示すのは、シンプルなウェブペイメントプラス実装の例です。

1. ウェブペイメントプラス Form POST の例:

```
<form  
action="https://securepayments.paypal.com/webapps/HostedSoleSolutionApp/  
webflow/sparta/hostedSoleSolutionProcess"  
method="post">  
<input type="hidden" name="cmd" value="_hosted-payment">  
<input type="hidden" name="subtotal" value="50">  
<input type="hidden" name="business" value="HNZ3QZMCPBAAA">  
<input type="hidden" name="paymentaction" value="sale">  
<input type="hidden" name="return"  
value="https://yourwebsite.com/receipt_page.html">  
<input type="submit" name="METHOD" value="Pay">  
</form>
```

太字テキストは、該当する変数の値です。値を引用符で囲むことをおすすめします。これらの値の詳細については、[表 2.1、「支払いページの設定に使用する HTML 変数」](#) を参照してください。

2. 自社のウェブサイトの、買い手がチェックアウトを続行するポイントに、HTML テキストを出力します。
3. チェックアウトページを開き、ボタンによって PayPal 支払いページを開くかどうかをテストします。

また、PayPal Sandbox 環境を使ってインテグレーションをテストすることもできます。PayPal Sandbox 環境でのインテグレーションのテストの詳細については、[57 ページの第 6 章「Sandbox でのインテグレーションのテスト」](#) を参照してください。

## HTML変数(支払いページの設定)

次の表は、ウェブリクエストとともに取引詳細情報を送るために使用できるウェブペイメントプラス HTML変数を一覧にしたもので、支払いページの外観をカスタマイズするのに使用できるHTML変数の一覧については、[表3.2、「支払いページの外観に使用するHTML変数](#)を参照してください。

**注：** PayPalに渡す値には、`0{}<>\\";`は使用できません。

**注：** 一部のマーチャントは、取引ごとに請求情報を渡す必要があります。最初に実装をテストして(特にiFrameの使用をお考えの場合)、請求情報フィールドを必須にするかどうかを判断することをおすすめします。

**表2.1 支払いページの設定に使用するHTML変数**

変数	説明	必須
address1	配送先住所の番地。(2フィールドの1)。	いいえ
address2	配送先住所の番地。(2フィールドの2)。	いいえ
address_override	伝達した住所が支払人に表示されますが、編集はできません。住所にエラーがあると、この変数は上書きされます。可能な値はtrue/falseです。デフォルトはfalseです。	いいえ
billing_address1	請求先住所の番地。(2フィールドの1)。	条件付き
billing_address2	請求先住所の番地。(2フィールドの2)。	いいえ
billing_city	請求先住所の市区町村名。	条件付き
billing_country	請求先住所の国コード。	条件付き
billing_first_name	商品の請求先個人の名。	条件付き
billing_last_name	商品の請求先個人の姓。	条件付き
billing_state	請求先住所の国名。	条件付き
billing_zip	請求先住所の郵便番号。	条件付き
bn	ボタンのコードを作成したソースを示します。 形式 - <会社>_<サービス>_<製品>_<国>	いいえ
business	PayPalアカウントのメールアドレス、またはPayPalアカウントに関連付けられているPayPal ID(セキュアなマーチャントID)。PayPal.comの「個人設定」ページの最上部に表示されるPayPal IDを使用することをおすすめします。	はい
buyer_email	買い手のメールアドレス。	いいえ

## HTMLを使用したウェブサイトのインテグレーション

### HTML変数(支払いページの設定)

表 2.1 支払いページの設定に使用する HTML 変数(続く)

変数	説明	必須
cancel_return	買い手が[ショッピングサイトに戻る]リンクをクリックすると、ブラウザがこのURLにリダイレクトされます。http://またはhttps://を含む完全なURLを入力してください。	いいえ
cbt	PayPalの確認ページ上の[ショッピングサイトに戻る]リンク用のテキストを設定します。ビジネスアカウントの場合、この復帰ボタンには「マーチャント」の代わりにデフォルトで事業者名が表示されます。	いいえ
city	配送先住所の市区町村。	いいえ
country	配送先住所の国名。	いいえ
currency_code	支払いの通貨。デフォルトはUSDです。	いいえ
custom	支払人に提示されないパススルー変数。	いいえ
first_name	商品の配送先個人の名。	いいえ
handling	取り扱い手数料。この金額は合計金額の subtotal に加算されます。	いいえ
invoice	マーチャントの注文/請求システムの注文番号。	いいえ
last_name	商品の配送先個人の姓。	いいえ
lc	ログインページまたはサインアップページの表示言語。可能な値は次のとおりです: JP、US	いいえ
night_phone_a	米国の電話番号のエリアコード、または米国外の電話番号の国コード。これにより買い手の自宅の電話番号が事前入力されます。	いいえ
night_phone_b	米国の電話番号の3桁の局番、または米国外の電話番号の国コードを除く全番号。これにより、買い手の自宅の電話番号が事前入力されます。 <b>注:</b> この変数は米国以外の番号に使用します。	いいえ
night_phone_c	米国の電話番号の4桁の番号。これにより、買い手の自宅の電話番号が事前入力されます。	いいえ
notify_url	即時支払い通知の形式で PayPal が取引に関する情報を掲示する URL。http://またはhttps://を含む完全な URL を入力してください。	いいえ
paymentaction	取引が、最終販売での支払いなのか、最終販売に対する与信(あとで売上げる)なのかを示します。 • 使用可能な値: - authorization または sale • 初期設定値 - sale	あり

表 2.1 支払いページの設定に使用する HTML 変数(続く)

変数	説明	必須
return	支払い完了後、買い手のブラウザがリダイレクトされる先の URL。http:// または https:// を含む完全な URL を入力してください。	いいえ
shipping	配送料。この金額は合計金額の subtotal に加算されます。	いいえ
state	配送先住所の都道府県。	いいえ
subtotal	取引の金額。配達、取り扱い手数料、および税金が指定されない場合、この金額が合計金額になります。	はい
tax	税金。この金額は合計金額の subtotal に加算されます。	いいえ
zip	配送先住所の郵便番号。	いいえ

## HTMLを使用したウェブサイトのインテグレーション

HTML変数(支払いページの設定)

# 3

## PayPal 支払いページのカスタマイズ

PayPal 支払いページの外観を以下の 2 つの方法でカスタマイズできます。

- PayPal アカウント設定の変更
- 支払いページの外観に使用する HTML 変数を使用する。

**注：** HTML 変数により、個人設定ページに保存しているアカウント設定が上書きされます。

この章にはモバイル最適化支払いフローの情報も含まれます。

**注：** 支払いページは、HTML の実装完了後、お客様に表示されるようになります。

## PayPalアカウント設定の変更

PayPal支払いページの設定と外観をカスタマイズできます。支払いページを変更するには、PayPal.comでアカウントにログインします。「個人設定」ページの[ウェブペイメントの設定]で、以下の操作を行います。

- **設定**: 支払いページの設定を構成する。
- **カスタマイズ**: 支払いページのレイアウトと外観を指定する。

The screenshot shows the PayPal Personal Settings page. At the top, there's a navigation bar with tabs: 'マイアカウント' (My Account), '支払い' (Payments), '請求' (Invoicing), '決済サービス' (Payment Services), and 'オークションツール' (Auction Tools). Below the tabs, there are several links: '概要' (Overview), '入金' (Deposits), '引き出し' (Withdrawals), '取引履歴' (Transaction History), '問題解決センター' (Customer Support), 'レポートツール' (Report Tools), and '個人設定' (Personal Settings). A red arrow points to the 'カスタマイズ' (Customize) link under the 'Web Payments' section.

**個人設定**

事業名: Auto Metal Recycling(averkhovskaya-JP-VTMaster1@paypal.com)  
セキュアなマーチャントID: VE7JCDUCRTFDG

アカウント設定を表示および編集して、製品およびサービスのステータスを確認します。

サービス	ステータス
バーチャルターミナル	ライ

**アカウント情報**

- メール
- 住所
- 電話および携帯での支払い
- パスワード
- 通知情報の共有
- 言語設定
- タイムゾーン
- ユーザーの管理
- API信用証明書の申請
- 事業情報
- アカウントの解約
- 識別設定

**セキュリティおよびリスク設定**

- 支払い受け取り設定

**レポートの設定**

- レポート購読の管理
- セキュアFTPサーバー設定

**販売の設定**

- オークション
- カスタマーサービスのメッセージ
- 請求書テンプレート
- 即時支払い通知の設定
- 言語エンコード

**決済情報**

- 銀行口座
- クレジットカード
- 外貨残高の管理
- 換金コード
- 月別アカウント明細
- 事前承認され支払い
- 定期支払いダッシュボード

**ウェブペイメントの設定**

- ウェブペイメント プラス
- 設定
- カスタマイズ

## 設定

図 3.1 設定 - 設定概要ページ

The screenshot shows the PayPal Account Settings Overview page. The top navigation bar includes tabs for 'マイアカウント' (My Account), '支払い' (Payments), '請求' (Invoicing), '決済サービス' (Payment Services), and 'オークション タール' (Auction Tools). Below the tabs are links for '概要' (Overview), '入金' (Deposits), '引き出し' (Withdrawals), '取引履歴' (Transaction History), '問題解決センター' (Problem Solving Center), 'レポートツール' (Report Tools), and '個人設定' (Personal Settings). A secondary navigation bar at the top right includes 'ウェブペイメントソリューションの設定' (Web Payment Solution Settings) and 'このページのヘルプ' (Help for this page). The main content area is titled 'ウェブペイメントソリューションの設定' (Web Payment Solution Settings). On the left, a sidebar lists tabs: '概要' (Overview), '顧客情報' (Customer Information), '支払いの確認' (Payment Confirmation), '領収書のメール送付' (Email Receipt), 'URLおよびデータ転送' (URL and Data Transfer), and '一般設定' (General Settings). The '顧客情報' tab is currently selected. The main content area contains several sections: '概要' (Overview) with a note about setting or changing methods; '設定' (Settings) with a note about clicking links to set up the web payment solution; a list of four items under '支払いの確認' (Payment Confirmation); a section on 'カスタマイズ' (Customization) with a note about反映 your company's brand and a link to 'カスタマイズを行う'; and a section on 'インテグレーション(統合)' (Integration) with a note about combining payment solution checkouts and a link to 'X.comに移動' (Move to X.com).

[マスペイ](#) | [紹介](#) | [会社紹介](#) | [アカウント](#) | [手数料](#) | [プライバシー](#) | [セキュリティセンター](#) | [お問い合わせ](#) |  
[法的規約](#) | [デベロッパー](#)

「設定」概要ページから以下の各タブを選択して、PayPal支払いページの設定を構成できます。

- **顧客情報**: 顧客の請求情報や配送情報を支払いページに表示するかどうかや、どの項目を入力必須/編集可能にするかを指定します。
- **支払い確認ページ**: 支払い確認ページの設定を選択します。取引が問題なく完了すると、このページが顧客に表示されます。
- **領収書メール**: 領収書メールを顧客に送信するよう指定し、この領収書メールをカスタマイズします。
- **URLとデータ転送**: お客様のウェブサイトの重要なURLを指定します。PayPalは、PayPal支払いページからお客様が指定したURLに顧客をリダイレクトします。
- **一般設定**: 支払いページのボタンラベルをカスタマイズします。

「設定」概要ページには[PayPalデベロッパー ポータル](#)へのリンクや、支払いページの外観を変更できる「カスタマイズ」ページへのリンクも含まれています。

## PayPal支払いページのカスタマイズ

### PayPalアカウント設定の変更

#### 顧客情報

[顧客情報]設定タブで、PayPal支払いページに[請求情報]および[配送情報]の各フィールドを表示するかどうかを選択できます。請求情報や配送情報の横のチェックボックスを選択すると、適用可能な項目のリストが表示されます。一覧表示された項目はすべて、支払いページに表示されます。

図 3.2 設定 - 顧客情報ページ

#### 顧客情報の収集

[このページのヘルプ](#)

The screenshot shows the 'Customer Information' section of the PayPal account settings. On the left, a sidebar lists navigation options: Overview, Customer Information, 'Payment Confirmation' Page, Email Receipts, URLs and Data Transfer, and General Settings. The main area is titled 'Collecting customer information' and contains the following sections:

- Overview:** Describes how PayPal collects payment information from visitors.
- Customer Information:** A checkbox labeled 'Check boxes next to the fields you want to appear on the payment confirmation page' is checked. Below it, under 'Name', there are two sets of checkboxes: one for optional collection ('Company name', 'First name', 'Last name') and one for mandatory collection ('Company name', checked 'First name', checked 'Last name').
- Address:** Similar to the Name section, it has two sets of checkboxes for optional ('Address 1', 'Address 2', 'City/Town', 'Prefecture/State', 'Zip/Postal Code', 'Country') and mandatory ('Address 1', checked 'Address 2', checked 'City/Town', checked 'Prefecture/State', checked 'Zip/Postal Code', checked 'Country') collection.
- Contact Information:** Contains sections for optional ('Phone number', 'Email address') and mandatory ('Phone number', 'Email address') collection.
- Shipping Information:** Contains a single optional checkbox for 'Shipping information'.
- Save changes:** A yellow button at the bottom right.

顧客情報フィールドのこのリストからは、支払いページのどの項目を編集可/入力必須にするかを選択できます。これらのフィールドを入力必須にするセクションの各入力必須フィールドの横にあるボックス、およびこれらのフィールドを編集可能にするセクションの編集可能フィールドの横にあるボックスにチェックを入れます。

支払いページに表示するオプションはできるだけ少なくすることをおすすめします。また、ご自分のウェブサイトで収集した情報を支払いページでも収集すると、買い物にとっては手間がかかります。たとえば、配送料を計算するために配送先住所をご自

分のウェブサイトで収集済みの場合があります。この場合、支払いページでこの情報を再度収集する必要はありません。

PayPal 支払いページで買い手の配送先住所を収集せず、すでに収集した配送情報を PayPal に渡すことができます。PayPal では、受け取った情報を支払いページにあらかじめ入力し、編集可能な状態で表示します。PayPal 支払いページへの値の提供に関する詳細は、“[HTML 変数\(支払いページの設定\)](#)”(17 ページ) でご覧ください。

[顧客情報] ページタブで、支払いページに以下の顧客の請求情報や配送情報のフィールドを表示するかどうかを選択できます。どの項目を入力必須・編集可能にするかも指定できます。

**注：** 一部のマーチャントは、取引ごとに顧客の請求情報の提供を求められます。最初に実装をテストして(特に iFrame の実装の使用をお考えの場合)、請求情報フィールドを必須にするかどうかを判断することをおすすめします。

請求情報フィールド	配送情報フィールド
名前	名前
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 会社名</li> <li>• 名</li> <li>• 姓</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 会社名</li> <li>• 名</li> <li>• 姓</li> </ul>
住所	住所
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 住所 1</li> <li>• 住所 2</li> <li>• 市区町村</li> <li>• 都道府県</li> <li>• 郵便番号</li> <li>• 国</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 住所 1</li> <li>• 住所 2</li> <li>• 市区町村</li> <li>• 都道府県</li> <li>• 郵便番号</li> <li>• 国</li> </ul>
連絡先情報	連絡先情報
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 電話番号</li> <li>• メールアドレス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 電話番号</li> <li>• メールアドレス</li> </ul>

HTML 変数を PayPal 支払いページに渡すことにより、取引時に [顧客情報] タブの設定を無効にすることもできます。詳細については、“[支払いページの外観に使用する HTML 変数](#)”(39 ページ) をご覧ください。

## PayPal支払いページのカスタマイズ

### PayPalアカウント設定の変更

#### 支払い確認ページ

[支払い確認ページ] タブから、支払い完了後に買い手に表示するページを指定できます。ご自分のウェブサイトにホストされた PayPal 確認ページまたは支払い確認ページのどちらを表示するかを選択できます。

**図 3.3 設定 - 支払い確認ページ**

#### 「支払いの確認」ページの設定

[このページのヘルプ](#)

The screenshot shows the 'Payment Confirmation Page' settings in the PayPal account settings. The left sidebar lists several sections: '概要' (Overview), '顧客情報' (Customer Information), '支払いの確認' (Payment Confirmation) (which is selected and highlighted in orange), '領収書のメール送付' (Email Receipt), 'URLおよびデータ転送' (URL and Data Transfer), and '一般設定' (General Settings). The main content area for '支払いの確認' contains the following fields:

- 支払いの確認ページ**: A dropdown menu where the option 'PayPalの確認ページに表示します。' (Show on PayPal confirmation page) is selected.
- ヘッダーテキスト(オプション)(最大720文字)**: An empty text input field.
- フッターテキスト(オプション)(最大720文字)**: An empty text input field.
- カスタマーサービスの電話番号**: An input field containing '7169169833'.
- カスタマーサービスのメールアドレス**: An input field containing 'averkhovskaya-JP-VTMaste'.
- カスタマーサービスの情報を編集するには、「個人設定」を開いてください。**: A note with a link to '個人設定'.
- 復帰URL**: An input field containing 'http://'. Note: The URL is incomplete.
- 戻るボタンのテキスト**: An input field containing 'ショッピングを続ける'.
- 取引が完了すると、お客様にメールが送信されます。取引の詳細は、取引履歴でも確認できます。**: A note about transaction confirmation emails.
- ヒント: HTTP POSTまたはGETを使用してデータをお客さまのウェブサーバーに送信するには、「URLおよびデータ転送」をクリックします。**: A note with a link to 'URLおよびデータ転送'.

**変更を保存** (Save Changes) button at the bottom right.

#### • 自分のサイトの確認ページ

このオプションを選択すると、PayPalは、お客様のウェブサイトにホストされた支払い確認ページに買い手をリダイレクトします。復帰 URL を入力してください。復帰 URL は、顧客が PayPal ページからお客様のサイトに戻ったとき、最初

に表示されるページです。自分専用の支払い確認ページをホストする場合は、[復帰 URL] に、支払い確認ページへのパスを入力します。

お客様のウェブサイト上でホストされた支払い確認ページに買い手を移動する場合は、取引結果についてのメッセージをこのページに表示する必要があります。注文の詳細は、必ず、お客様にお渡しする取引 ID を使って表示してください。

#### • PayPal 確認ページ

このオプションを選択すると、買い手に対し PayPal がホストする確認ページを表示するよう設定されます。次の情報について、PayPal がホストする確認ページをカスタマイズできます。

- (オプション) ヘッダー テキスト
- (オプション) フッター テキスト
- カスタマーサービスの電話番号。

カスタマーサービスの連絡先情報を更新するには、「個人設定」ページに戻ります。

- カスタマーサービスのメールアドレス。

カスタマーサービスの連絡先情報を更新するには、「個人設定」ページに戻ります。

- 復帰 URL

復帰 URL は、顧客が PayPal ページからお客様のサイトに戻ったとき、最初に表示されるページです。[復帰 URL] には、PayPal 支払い確認ページの後に買い手に表示したいご自分のサイトのページへのパスを入力します、PayPal の確認ページのリンクをクリックすると、買い手はお客様のサイトに戻ります。リンクを設定するテキストはカスタマイズできます。

- 復帰ボタン・リンクのテキスト

ここで、ユーザーをお客さまのサイトに戻す、PayPal 確認ページのリンクのテキストを指定できます。

HTTP POST または GET を使って PayPal からお客様のウェブサーバーに情報を送信する方法を変更するには、[URL とデータ転送] 設定タブに移動します。

#### 領収書メール

[領収書メール] 設定タブから、取引完了後に PayPal から買い手に領収書メールを送るかどうかを指定できます。この機能は初期設定では無効になっています。有効にするには、[PayPal からの領収書のメール送付を許可します。] の横のチェックボックスを選択します。

領収書メールのページで以下の情報をカスタマイズできます。

- 送信者のメールアドレス
- 返信先メールアドレス(オプション)
- 事業者名または会社のロゴを表示しますか?
  - 事業者名をテキストで表示

## PayPal支払いページのカスタマイズ

### PayPalアカウント設定の変更

- 会社のロゴを表示
- 表示しない
- ヘッダーテキスト(オプション)
- フッターテキスト(オプション)
- カスタマーサービスの電話番号
- カスタマーサービスのメールアドレス

カスタマーサービスの連絡先情報を更新するには、「個人設定」ページに戻ります。

**図 3.4 設定 - 領収書メール**

メールの領収書のカスタマイズ [このページのヘルプ](#)

The screenshot shows the 'Receipt Email' settings page. On the left, there's a sidebar with tabs: '概要' (Overview), '顧客情報' (Customer Information), '「支払いの確認」ページ' (Payment Confirmation Page), '領収書のメール送付' (Send Receipt by Email), 'URLおよびデータ転送' (URL and Data Transfer), and '一般設定' (General Settings). The main area has several sections:

- 支払いがあった顧客に対し、PayPalはメールで領収書を送付します。** (PayPal will send receipts by email to customers who made a payment.)  
A checkbox labeled 'PayPalからの領収書のメール送付を許可します。' (Allow email delivery of receipts from PayPal) is checked.
- 差出人メールアドレス**: An input field containing 'averkhovskaya-JP-VTMaste'.
- 返信先メールアドレス (オプション)**: An input field containing 'averkhovskaya-JP-VTMaste'.
- 事業者名またはロゴを表示しますか?**: Radio buttons for '事業者名をテキストで表示' (Display company name as text), '企業ロゴを表示' (Display company logo), and '表示しない' (Do not display). The '表示しない' option is selected.
- ヘッダーのテキスト (オプション)**: A large text input field containing the placeholder '...'. It also contains the text 'カスタマーサービスの電話番号' (Customer service phone number).
- フッターのテキスト (オプション)**: A large text input field containing the placeholder '...'. It also contains the text 'カスタマーサービスのメールアドレス' (Customer service email address).
- カスタマーサービスの電話番号**: An input field containing '7169169833'.
- カスタマーサービスのメールアドレス**: An input field containing 'averkhovskaya-JP-VTMaste'.
- カスタマーサービスの情報を編集するには、「個人設定」を開いてください。** (To edit customer service information, please open 'Personal Settings').
- 変更を保存** (Save changes) button.

## URLとデータ転送

[URLとデータ転送]の設定により、PayPalとお客様のウェブサイトでのデータの転送方法(GETまたはPOSTを使用)を管理できます。キャンセル時またはエラー時のURLの値もここで設定できます。復帰URLを変更するには、[支払い確認ページ](#)に移動してください。

**図 3.5 設定 - URLとデータ転送**



[URLとデータ転送]タブから、以下の設定を行うことができます。

### データの転送方法

ご自分のウェブサーバーに支払いデータを送り返す際にPayPalが使用するHTTPメソッドを選択します。このデータ転送方法は、復帰時、キャンセル時、エラー時のURLに適用されます。以下のオプションがあります。

- GET
- POST

#### キャンセル時の URL

顧客が支払いをキャンセルした場合、顧客はこのリンクから、お客様が指定したウェブページに移動します。

- キャンセル時の URL

買い手が支払いをキャンセルした場合に戻るウェブページのURLを入力します。

キャンセル時のURLは、取引時に動的に設定することもできます。その場合は、PayPalにHTML変数を渡します。アカウント設定で指定されたキャンセル時のURLは、このHTML変数により上書きされます。詳細は“[HTML変数\(支払いページの設定\)](#)”(17ページ)を参照してください。

- キャンセル時の URL のテキスト

PayPal支払いページに表示される支払いキャンセルのリンクのテキストはここでカスタマイズできます。

#### エラー時の URL

これは、支払い取引中にエラーが発生した場合にPayPalが買い手をリダイレクトするページのURLです。

#### 一般設定

「一般設定」ページでは、PayPal支払いページをさらにカスタマイズできます。

#### 支払いページのボタンのテキスト

[今すぐ支払う]ボタンのテキストをカスタマイズできます。

図 3.6 設定 - 一般設定



## カスタマイズ

[カスタマイズ] ページでは、PayPal 支払いページのレイアウトおよび外観をカスタマイズできます。ここで、使用可能なページレイアウトからいずれかを選択できます。選択するレイアウトに応じて、支払いページのヘッダー、背景色、サブヘッダーのテキスト、支払いボタンの色、ボタンテキストの色、注文概要セクションをカスタマイズできます。PayPal 支払いページは、デスクトップおよびモバイルの両方のブラウザ向けに最適化されています。モバイルブラウザでの支払いページの動作の詳細は、“[モバイル最適化支払いフロー](#)”(37 ページ)を参照してください。

ページ上部に、PayPal が提供する4つのレイアウトテンプレートが表示されます。テンプレート A が初期設定のテンプレートです。以下のテンプレートからいずれかを選択できます。iFrame の実装を希望する場合は、*MiniLayout* テンプレートを選択してください。

ご希望のレイアウトテンプレートを選択すると、そのテンプレートの各セクションをカスタマイズできます。セクションに変更を加えるには、変更するセクションで左クリックするか、そのセクションに該当する [クリックして編集] ボタンをクリックします。色を変更するカラーセレクタやテキスト入力フィールドのような、そのセクションに適用可能な設定を表示したポップアップウィンドウが開きます。

レイアウトテンプレートのカスタマイズが完了したら、以下のボタンのいずれかをクリックしてください。

- **プレビュー** - テンプレートにおこなった変更を、保存して公開する前にレビューします。
- **保存して公開** - すべての変更を保存して、更新されたテンプレートを公開します。買い手には更新された支払いページが表示されます。
- **キャンセル** - このセッションでの全変更を破棄します。
- **以前のバージョン** - 前回テンプレートを保存した後の変更すべてを破棄します。買い手には前回保存されたテンプレートが表示されます。

**注：** すべての変更（テンプレートの変更を含む）を同じセッション内でおこなわないといと、変更がすべて失われるため、再び変更することになります。セッションがタイムアウトすると、テンプレートのデザインは、前回保存して公開されたバージョンのままになります。

#### テンプレートの選択

以下の4つのデザインテンプレートから選択します。

- レイアウトA
- レイアウトB
- レイアウトC
- MiniLayout

**レイアウト A:** 初期設定ではレイアウト A が選択されています。レイアウト A には、ページ上部のヘッダー、左側の支払方法セクション、右側の注文概要セクションがあります。このレイアウトではヘッダーのみカスタマイズできます。ヘッダーの高さの指定、会社名のテキスト表示、会社のロゴのアップロードなどができます。ヘッダーの位置調整(水平方向)も選択できます。

**注:** レイアウトテンプレート A、B、C を使用すると、対応しているモバイルブラウザに支払いページが表示される場合、レイアウトテンプレートの代わりにモバイル最適化支払いフローが自動表示されます。モバイル最適化支払いページは、カスタマイズできず、レイアウト A、B、C で同じように表示されます。

図 3.7 カスタマイズ-レイアウト A



## PayPal支払いページのカスタマイズ

### PayPalアカウント設定の変更

**レイアウト B:** レイアウト B は、カスタマイズオプションが最も多くあります。レイアウト A と同様に、ページ上部にヘッダー、左側に支払方法セクション、右側に注文概要セクションが表示されます。さらにレイアウト B では、ヘッダーやページの背景色をカスタマイズしたり、ページ背景の画像を選択したりできます。左側の支払方法セクションでは、サブヘッダーのテキスト、セクションの境界、支払いボタン、支払いボタンのテキストの色をそれぞれ選択できます。右側の注文概要では、背景色をカスタマイズしたり背景画像を使用したりできます。

**注：** レイアウトテンプレート A、B、C を使用すると、対応しているモバイルブラウザに支払いページが表示される場合、レイアウトテンプレートの代わりにモバイル最適化支払いフローが自動表示されます。モバイル最適化支払いページは、カスタマイズできず、レイアウト A、B、C で同じように表示されます。

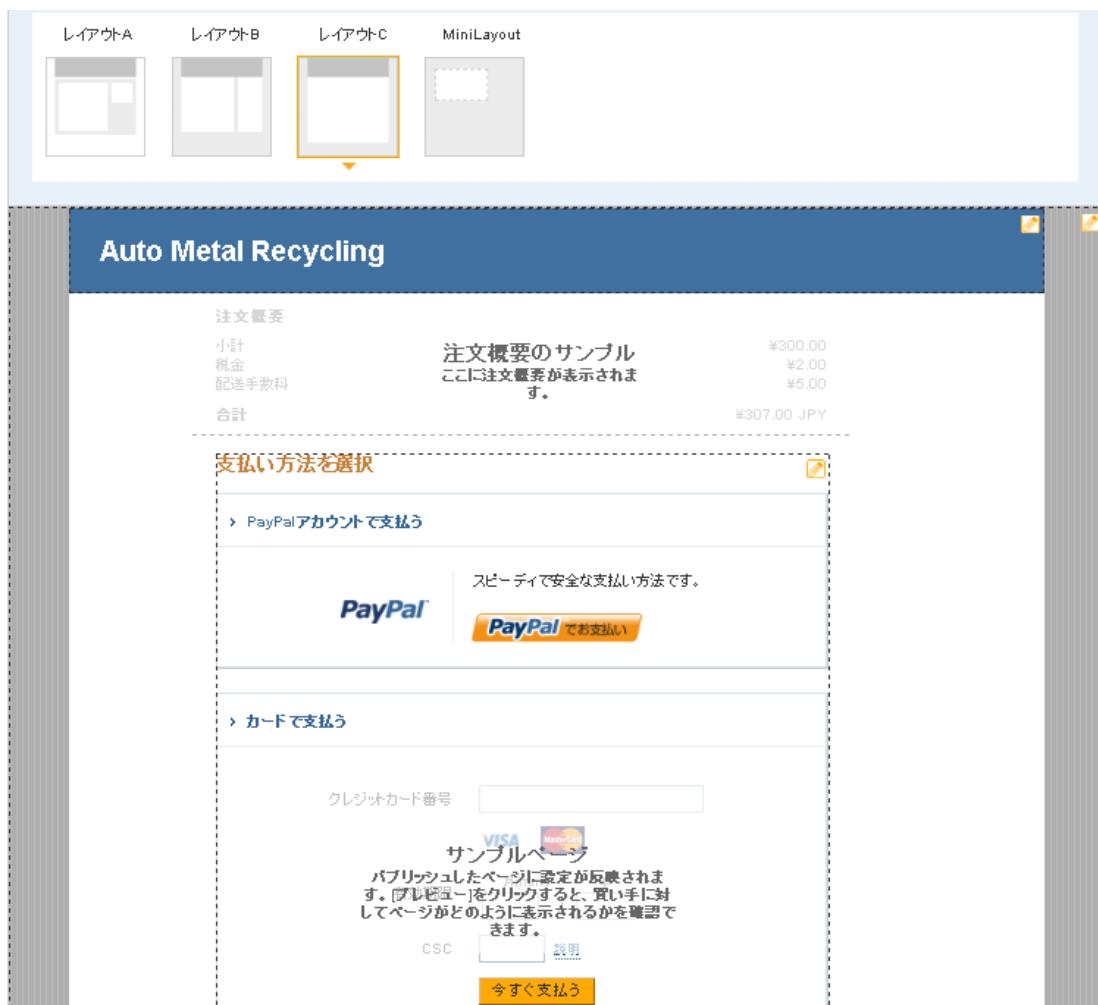
**図 3.8 カスタマイズ-レイアウト B**



**レイアウト C:** レイアウト C では、注文概要セクションはページ上部のヘッダーのすぐ下に表示され、その下には支払方法セクションが表示されます。レイアウト B と同様に、レイアウト C でも、ヘッダー、ページの背景、および支払方法セクションの色をカスタマイズできます。ただし、注文概要のセクションはカスタマイズできません。

**注:** レイアウトテンプレート A、B、C を使用すると、対応しているモバイルブラウザに支払いページが表示される場合、レイアウトテンプレートの代わりにモバイル最適化支払いフローが自動表示されます。モバイル最適化支払いページは、カスタマイズできず、レイアウト A、B、C で同じように表示されます。

**図 3.9 カスタマイズ-レイアウト C**



## PayPal支払いページのカスタマイズ

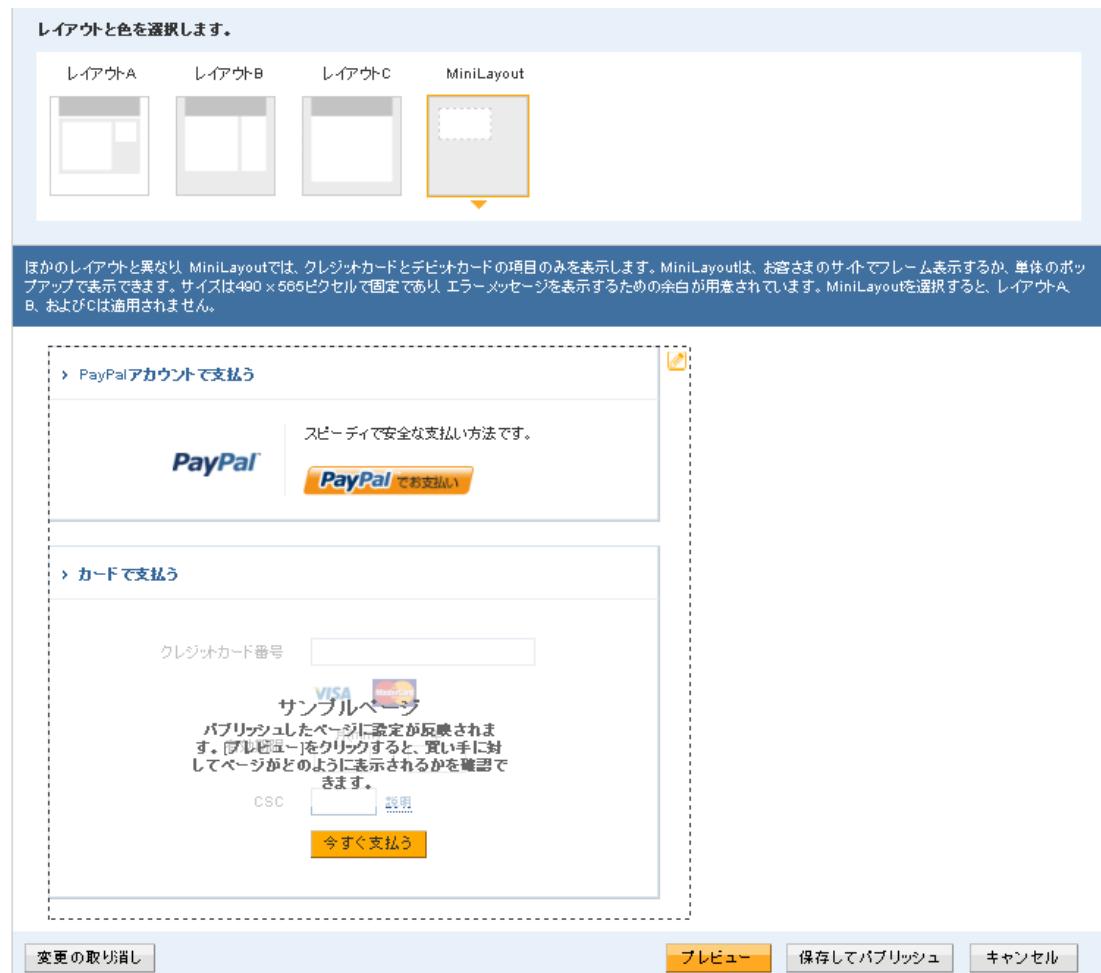
### PayPalアカウント設定の変更

**MiniLayout:** ほかのレイアウトと異なり、MiniLayoutには支払方法のセクションのみ表示されます。ヘッダーや注文概要のセクションは表示されません。MiniLayoutは、独立したポップアップウィンドウに表示することも、iFrameのお客さまのサイトの一部として表示することもできます。iFrameの実装の詳細は、“[iFrameの実装](#)”(44ページ)をご覧ください。MiniLayoutのサイズは、490 x 565ピクセル固定で、エラーメッセージ用のスペースがあります。

MiniLayoutでは、サブヘッダーのテキストの色、境界の色、支払いボタンの色、支払いボタンのテキストの色をカスタマイズできます。

**注：** MiniLayoutを使用すると、モバイルブラウザから支払いページを開いてもモバイル最適化フローは表示されません。これは、モバイル向けに最適化されていない可能性のあるマーチャントのウェブページにモバイル最適化組み込みテンプレートが自動表示された場合、想定外の現象が発生する可能性があるためです。モバイル最適化フローを表示するには、取引時にHTML変数templateのmobileまたはmobile-iframeを渡します。

**図 3.10 カスタマイズ-MiniLayout**



## レイアウトテンプレートのカスタマイズオプション

テンプレートをカスタマイズする際には、以下の点を検討します。

- **ヘッダー**(レイアウト A、B、C に適用) - デフォルトでは、個人設定の事業者名がヘッダーに表示されます。以下の点を変更できます。
  - ヘッダーの高さと色
  - フォントタイプ、サイズ、色
  - 事業者名と事業ロゴ画像の表示の切り替え
  - 事業者名またはロゴの位置
  - レイアウト B および C では、ヘッダーの背景色も変更できます。
- **ページ背景**(レイアウト B、C に適用) - 以下の点を変更できます。
  - 背景色
  - 背景画像URL
- **支払方法セクション**(レイアウト B、C、MiniLayout に適用) - 以下の点を変更できます。
  - セクションの境界色
  - サブヘッダーのテキストの色
  - 支払いボタンの色とボタンテキストの色
- **注文の概要セクション**(レイアウト B にのみ適用) - 以下の点を変更できます。
  - セクションの背景色
  - 背景画像URL

---

## モバイル最適化支払いフロー

PayPal 支払いページは、モバイルブラウザ向けに最適化されています。テンプレート A、B、C を使用すると、対応しているモバイルブラウザから支払いページを買い物手が開いたとき、レイアウトテンプレートの代わりにモバイル最適化支払いフローが自動表示されます。

**注：** モバイル最適化支払いページは、カスタマイズできず、レイアウト A、B、C で同じように表示されます。

MiniLayout または iFrame インテグレーションとしても知られているテンプレート D を使用すると、モバイルブラウザから支払いページを開いてもモバイル最適化フローは表示されません。これは、モバイル向けに最適化されていない可能性のあるマーチャントのウェブページにモバイル最適化組み込みテンプレートが自動表示された場合、想定外の現象が発生する可能性があるためです。モバイル最適化フローを表示するには、取引時に HTML 変数 template の mobile または mobile-iframe を渡します。詳

## PayPal支払いページのカスタマイズ

### モバイル最適化支払いフロー

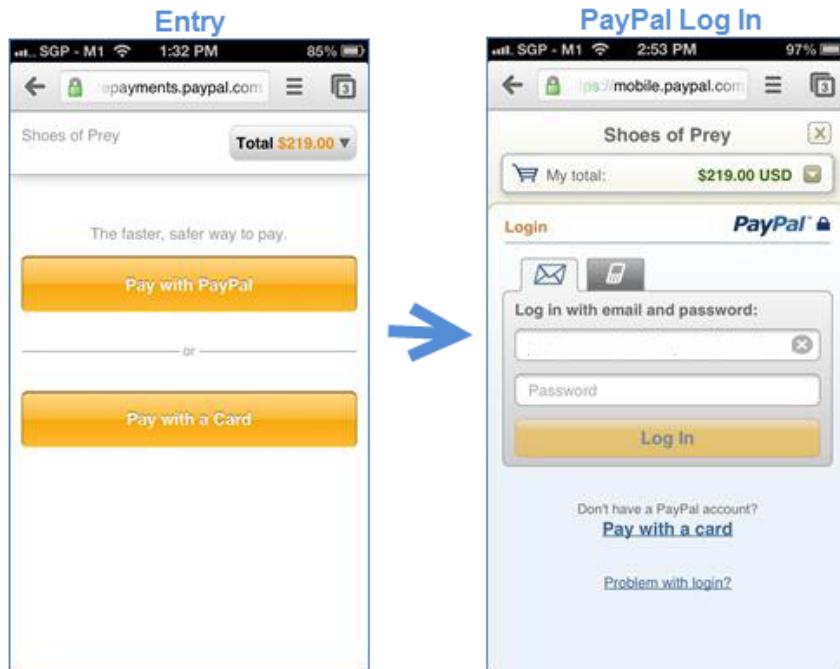
細は、“支払いページの外観に使用するHTML変数”(39ページ)のHTML変数のtemplateを参照してください。

表 3.1 HTML変数のtemplate

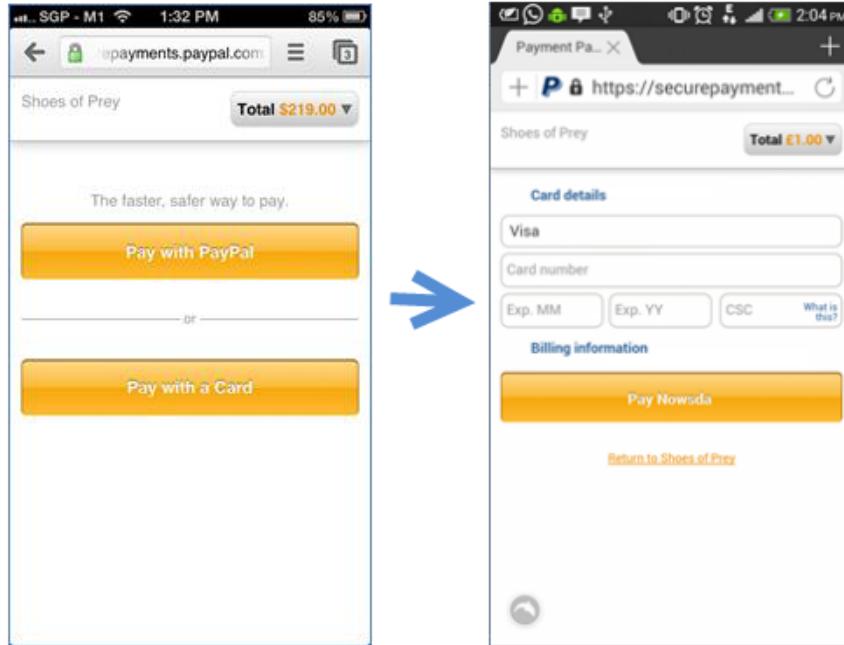
template変数の値	ウェブブラウザでの動作	モバイル端末からの動作
templateA	ウェブレイアウトを表示します。	モバイル最適化フローを表示します。
templateB	ウェブレイアウトを表示します。	モバイル最適化フローを表示します。
templateC	ウェブレイアウトを表示します。	モバイル最適化フローを表示します。
templateD	iFrame ウェブレイアウトを表示します。	iFrame ウェブレイアウトを表示します。
mobile	初期設定のウェブレイアウトを表示します。	モバイル最適化フローを表示します。
mobile-iframe	初期設定のウェブレイアウトを表示します。	モバイル iFrame レイアウトを表示します。

図 3.11、「PayPal支払いのモバイル支払いフロー」および図 3.12、「クレジットカード支払いのモバイル支払いフロー」は、モバイル最適化支払いフローの例です。

図 3.11 PayPal支払いのモバイル支払いフロー



**図 3.12 クレジットカード支払いのモバイル支払いフロー**



## 支払いページの外観に使用する HTML 変数

次の表は、支払いページの外観をカスタマイズするのに使用できる HTML 変数を一覧にしたものです。取引時に渡す HTML 変数により、PayPal アカウントの個人設定の支払いページの設定が上書きされます。その他の HTML 変数については、[HTML 変数\(支払いページの設定\)](#)を参照してください。

**注：** PayPal に渡す値には、{}<>\"; は使用できません。

**表 3.2 支払いページの外観に使用する HTML 変数**

変数	説明
bodyBgColor	支払いページの周囲背景色。
bodyBgImg	支払いページの周囲背景の画像。使用できるファイル拡張子の形式は、.gif、.jpg、.jpeg、または.png です。
footerTextColor	フッターテキストの色。
headerBgColor	ヘッダーの背景の色。
headerHeight	ヘッダーバナーの高さ。50～140 ピクセルで設定できます。幅を変更することはできません。常に 940 ピクセルです。
logoFont	ロゴテキストのフォントタイプ。

## PayPal支払いページのカスタマイズ

支払いページの外観に使用するHTML変数

表 3.2 支払いページの外観に使用するHTML変数

変数	説明
logoFontColor	ロゴテキストの色。
logoFontSize	ロゴテキストのフォントサイズ。
logoImage	ロゴに表示される画像。使用できるファイル拡張子の形式は、.gif、.jpg、.jpeg、または.pngです。画像の幅が940ピクセルを超えることはできません。
logoImagePosition	ロゴ内の画像の位置。
logoText	個人設定ページに表示される事業者名。このフィールドは編集可能で、logoImageを指定しない場合、指定したテキストがヘッダーに表示されます。
orderSummaryBgColor	支払いページの右側の注文概要列の色。注文概要ボックスの色を変更することはできません。
orderSummaryBgImage	注文概要列に配置できる背景画像。使用できるファイル拡張子の形式は、.gif、.jpg、.jpeg、または.pngです。
pageButtonBgColor	[今すぐ支払う] ボタンの背景色。
pageButtonTextColor	[今すぐ支払う] ボタンの色。ボタンのテキストを変更することはできません。
pageTitleTextColor	ページのタイトルに使用されるテキストの色。(「支払い方法を選択する」というテキスト。)
sectionBorder	「PayPalアカウントで支払い」または「カードで支払い」と表示されるセクションの背景。
showCustomerName	顧客名(氏名)を表示します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• デフォルト値: true</li><li>• 可能な値: true または false。true = 表示、false = 非表示。</li></ul>
showBillingAddress	請求先住所情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• デフォルト値: true</li><li>• 可能な値: true または false。true = 表示、false = 非表示。</li></ul>
showBillingPhone	請求書送付先の電話番号を表示します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• デフォルト値: true</li><li>• 可能な値: true または false。true = 表示、false = 非表示。</li></ul>
showBillingEmail	請求のためのメールアドレスを表示します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• デフォルト値: false</li><li>• 可能な値: true または false。true = 表示、false = 非表示。</li></ul>
showHostedThankyouPage	PayPalの確認ページを表示します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• デフォルト値: true</li><li>• 可能な値: true または false。true = 表示、false = 非表示。</li></ul>

表 3.2 支払いページの外観に使用する HTML 変数

変数	説明
showShippingAddress	<p>配送先住所を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デフォルト値: false</li> <li>可能な値: true または false。true = 表示、false = 非表示。</li> </ul>
subheaderText	「PayPal アカウントで支払い」または「カードで支払い」というテキストの色。
template	<p>支払いページに使用するレイアウトテンプレート。アカウントの個人設定のレイアウトテンプレートは、取引時に以下の値のいずれかを渡すことで上書きできます。</p> <p><b>注:</b> レイアウトテンプレート A、B、C を使用すると、対応しているモバイルブラウザから支払いページを買い手が開いた場合、レイアウトテンプレートの代わりにモバイル最適化支払いフローが自動表示されます。モバイル最適化支払いページは、カスタマイズできず、レイアウト A、B、C で同じように表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>templateA - テンプレート A をレイアウトするための支払いページテンプレートを設定します。</li> <li>templateB - テンプレート B をレイアウトするための支払いページテンプレートを設定します。</li> <li>templateC - テンプレート C をレイアウトするための支払いページテンプレートを設定します。</li> <li>templateD - MiniLayout (iFrame インテグレーション) テンプレートの支払いページテンプレートを設定します。モバイルブラウザに支払いページが表示される場合は、モバイル最適化フローは表示されません。これは、モバイル向けに最適化されていない可能性のあるマーチャントのウェブページにモバイル最適化組み込みテンプレートが自動表示された場合、想定外の現象が発生する可能性があるためです。モバイル最適化支払いフローを表示するには、取引時に HTML 変数 template の mobile または mobile-iframe を渡します。</li> </ul> <p><b>注:</b> テンプレート A、B、C を使用している場合、モバイル最適化支払いページを表示するための操作は必要ありません。買い手がモバイルブラウザを開いているかどうかが自動的に検知され、モバイル最適化フローが自動表示されます。ただし、MiniLayout または iFrame インテグレーションとしても知られている templateD の場合、モバイル最適化支払いフローを表示するには、取引時に mobile または mobile-iframe を渡す必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>mobile - モバイル最適化支払いフローを表示します。MiniLayout または iFrame インテグレーションとしても知られているテンプレートの templated を使用し、iFrame なしでモバイル最適化フローを表示させたい場合は、この値を渡します。</li> <li>mobile-iframe - iframe を使用してモバイル最適化ページを表示します。MiniLayout または iFrame インテグレーションとしても知られているテンプレートの templated を使用し、iFrame によりモバイル最適化フローを表示させたい場合はこの値を渡します。</li> </ul>

## PayPal 支払いページのカスタマイズ

支払いページの外観に使用する HTML 変数

# 4

## ウェブサイトへの iFrame の実装

PayPal では、ウェブサイトの iFrame にインテグレートできるコンパクトな支払いフォームを用意しています。このフォームはウェブサイトにインテグレートされるので、買い手がウェブサイトを離れることがなく、したがって途中でやめる可能性も低くなります。また、コンパクト支払いフォームを囲むマスターフレームでチェックアウトの外観を維持できます。クレジットカードフィールドはコンパクト支払いフォームの一部であるため、この情報を別に収集する必要はありません。

**重要 :** 次のブラウザは、iFrame に関するセキュリティの問題に対応しており、より安全に使用できます : Internet Explorer 7.0、8.0、および 9.0、Firefox 24、Chrome 30、Safari 4.x および 5.x。その他のブラウザのユーザーが関与する取引では、iFrame フローの使用を避けるか、取引自体を中止してください。また、iFrame のフローのほかに別のリスクがあります。PayPal iFrame から攻撃が発生した場合、それは EC サイトからの攻撃のように見えます。このようなリスクを回避するためには、iFrame フローを使用しないでください。

**注 :** なりすましの恐れがあるため、このフォームには PayPal ブランドは含まれません。

iFrame の実装を希望する場合は、[MiniLayout](#) テンプレートを使用する必要があります。PayPal アカウントの「カスタマイズ」ページから [MiniLayout] も選択できます。または、取引時に HTML 変数 Template=TemplateD を渡すことができます。本章の例では、後者の HTML 変数方法を使用して MiniLayout テンプレートを設定しています。

MiniLayout を使用すると、モバイルブラウザから支払いページを開いてもモバイル最適化支払いフローは自動的には表示されません。これは、モバイル向けに最適化されていない可能性のあるマーチャントのウェブページにモバイル最適化組み込みテンプレートが自動表示された場合、想定外の現象が発生する可能性があるためです。モバイル最適化フローを表示するには、取引時に HTML 変数 template の mobile または mobile-iframe を渡します。

MiniLayout テンプレート(コンパクト支払いフォーム)には、以下のフィールドが含まれます。

- クレジットカード番号
- 有効期限
- CVV2 番号(該当する場合。カードタイプによる)
- その他のカードタイプに必要な追加フィールド。例: Mastestro や Switch の場合、開始日と発行番号

このテンプレートには、以下のオプションも用意されています。

- [PayPalで支払う]ボタンを削除する。フォームにはPayPalアカウントを使って支払うオプションがデフォルトで用意されていますが、アカウント管理者またはカスタマーサポートに連絡して、このオプションをオフにすることができます。
- [今すぐ支払う]ボタンの色を手動でカスタマイズする。

**重要：** showBillingAddress=true が渡された場合でも、このコンパクト支払いフォームには買い手の請求先住所は表示されません。ただし、マーチャントによっては、取引を正常に処理するため、請求先住所を渡す必要があります。

---

## iFrame の実装

以下の方法のいずれかを選択して、コンパクト支払いフォームをウェブサイトに実装します。

- 手動インテグレーション
- API インテグレーション

**重要：** 最適なパフォーマンスが得られるよう、iFrame アセットは画像や JavaScriptなどのアセットの前に読み込むことを推奨します。iFrame を読み込むときに、支払いページ上ですでに数多くのアセットが実行中の場合、iFrame のリクエストが実行されなかったり、実行が遅れる場合があります。その場合、買い手には空の iFrame が表示されることになります。

## 手動インテグレーション

コンパクト支払いフォームを手動でウェブサイトにインテグレートするには、以下の手順を実行します。

1. ウェブサイトでコンパクト支払いフォームを表示する位置に iFrame タグを入力します。例を示します。

```
<iframe name="hss_iframe" width="570px" height="540px"></iframe>
```

コンパクト支払いフォームで使用可能なサイズは、幅 570 ピクセル、高さ 540 ピクセルです。

2. 以下のiFrameコードでは、該当するウェブペイメントプラス変数(支払い合計金額を含む)が自動入力される非表示フォームを追加し、変数TemplateDを指定します。次に、例を上げます。

```
<form style="display:none" target="hss_iframe" name="form_iframe"
method="post"
action="https://securepayments.paypal.com/webapps/HostedSoleSolutionApp/
webflow/sparta/hostedSoleSolutionProcess">
<input type="hidden" name="cmd" value="_hosted-payment">
<input type="hidden" name="subtotal" value="50">
<input type="hidden" name="business" value="HNZ3QZMCPBAAA">
<input type="hidden" name="paymentaction" value="sale">
<input type="hidden" name="template" value="templateD">
<input type="hidden" name="return"
value="https://yourwebsite.com/receipt_page.html">
</form>
```

**注：** iFrame取引が失敗した場合は、請求先住所を渡します。HTML変数の一覧については、[HTML変数\(支払いページの設定\)](#)を参照してください。

3. 下の例に示すように、ターゲット名がiFrame名に一致していることを確認します。

```
<iframe name="hss_iframe" width="570px" height="540px"></iframe>

<form style="display:none" target="hss_iframe" name="form_iframe"
method="post"
action="https://securepayments.paypal.com/webapps/HostedSoleSolutionApp/
webflow/sparta/hostedSoleSolutionProcess">
```

4. JavaScriptを使ってフォームを送信します。例を示します。

```
<script type="text/javascript">
    document.form_iframe.submit();
</script>
```

### 手動インテグレーションの例

上記の手順にしたがった例全体は、次のようになります。

```
<iframe name="hss_iframe" width="570px" height="540px"></iframe>
<form style="display:none" target="hss_iframe" name="form_iframe"
method="post"
action="https://securepayments.paypal.com/webapps/HostedSoleSolutionApp/web
flow/sparta/hostedSoleSolutionProcess">
<input type="hidden" name="cmd" value="_hosted-payment">
<input type="hidden" name="subtotal" value="50">
<input type="hidden" name="business" value="HNZ3QZMCPBAAA">
<input type="hidden" name="paymentaction" value="sale">
<input type="hidden" name="template" value="templateD">
<input type="hidden" name="return"
value="https://yourwebsite.com/receipt_page.html">
</form>
```

## ウェブサイトへのiFrameの実装

### iFrameの実装

```
<script type="text/javascript">
    document.form_iframe.submit();
</script>
```

## APIインテグレーション

APIを使用してご自分のウェブサイトにコンパクト支払いフォームを実装する場合は、“[ウェブペイメントプラスの支払いでのボタンマネージャ APIの使用](#)”(50ページ)を参照してください。

**注：** このタイプのインテグレーションには、**template=templateD** を使用します。

レスポンスには、ウェブペイメントプラスの支払いフローを開始するためのオプションが2つあります。

- レスポンスで返される URL の使用
- Form POST の使用

## レスポンスで返される URL の使用

レスポンスでEMAILLINKとして指定されるURLに、下の例のようにiFrame用に「src」を追加し、買い手をリダイレクトして支払いフローを開始します。

```
<iframe src="https://securepayments.paypal.com/...?hosted_button_id=HSSS-..." width="570px" height="540px"></iframe>
```

コンパクト支払いフォームで使用可能なサイズは、幅570ピクセル、高さ540ピクセルです。

**重要：**このオプションは、Safari ブラウザではサポートされていません。下記の Form POST オプションを使用してください。

## Form POST の使用

レスポンスでWEBSITECODEを識別して、このコードを使ってレビューページに[今すぐ支払う]ボタンを作成します。買い手がこのボタンをクリックすると、買い手はPayPalがホストする支払いページにリダイレクトされます。URLと同様、このボタンは約2時間、または支払いが完了するまで、使用できます。

1. ウェブサイトでコンパクト支払いフォームを表示する位置にiFrameタグを入力します。例を示します。

```
<iframe name="hss_iframe" width="570px" height="540px"></iframe>
```

コンパクト支払いフォームで使用可能なサイズは、幅570ピクセル、高さ540ピクセルです。

2. iFrameタグに以下を挿入します。

```
WEBSITECODE=<form  
action="https://securepayments.paypal.com/webapps/HostedSoleSolutionApp/  
webflow/sparta/hostedSoleSolutionProcess" method="post">  
<input type="hidden" name="hosted_button_id" value="HSSS-  
GDrPDzuW-ADwkFDMjQmpUK1gTDDr.tv5alaGS61.XWVVB1MTMQEngNoLakufQb89zTjf6">  
<input type="image" src="https://www.paypal.com/i(btn(btn_paynow_LG.gif"  
border="0" name="submit" alt="PayPal - The safer, easier way to pay  
online.">  
  
</form>
```

3. JavaScriptを使ってフォームを送信します。例を示します。

```
<script type="text/javascript">  
    document.form_iframe.submit();  
</script>
```

#### API (Form POST) インテグレーションの例

上記の手順にしたがった例全体は、次のようになります。

```
<iframe name="hss_iframe" width="570px" height="540px"></iframe>

WEBSITECODE=<form
action="https://securepayments.paypal.com/webapps/HostedSoleSolutionApp/web
flow/sparta/hostedSoleSolutionProcess" method="post">
<input type="hidden" name="hosted_button_id" value="HSSS-
GDrPDzuW-ADwkFDMjQmpUK1gTDdR.tv5alaGS61.XWVVB1MTMQEnGNoLakufQb89zTjf6">
<input type="image" src="https://www.paypal.com/i(btn(btn_paynow_LG.gif"
border="0" name="submit" alt="PayPal - The safer, easier way to pay
online.">

</form>
<script type="text/javascript">
    document.form_iframe.submit();
</script>
```

# 5

# APIを使用したウェブサイトの実装

ボタンマネージャ APIを使用して、ウェブサイトでウェブペイメントプラス支払いフローを開始するチェックアウトボタンをプログラムで作成することができます。チェックアウトボタンは、買い手がウェブサイトでチェックアウトしようとするときに、動的に作成します。買い手がチェックアウトボタンをクリックしたら、マーチャントは `BMCreateButton` API オペレーションを呼び出して、それをウェブページに表示します。買い手は、このチェックアウトボタンをクリックすると、PayPal 支払いページにリダイレクトされ、そこで支払いを完了します。

HTML 変数は、PayPal 支払いページの外観、ページに含まれる情報、および買い手が支払いページを離れた後で戻るためのページをコントロールします。HTML 変数の一覧については、“[HTML 変数\(支払いページの設定\)](#)”(17 ページ) を参照してください。

ボタンマネージャ API の詳細情報は、「[ボタンマネージャ API リファレンス](#)」を参照してください。

**注：** ボタンマネージャ API を使用して、チェックアウトボタンをプログラムで作成することができます。ただし、ボタンの管理、編集、削除はできません。

## ボタンのホスティング

ウェブペイメントプラスでは、`BUTTONTYPE=PAYOUTMENT` を使って、以下のチェックアウトボタンを作成できます。

- トーケンボタン (`BUTTONCODE=TOKEN`) は、PayPal 上に保存されません。これらのボタンは動的で、ウェブペイメントプラス支払いフローを開始します。この種類のボタンに関連付けられるパラメータは、より安全です。使用しないまま約2時間経過すると、無効になります。
- 暗号化ボタン (`BUTTONCODE=ENCRYPTED`) は、PayPal 上に保存されません。この種類のボタンに関連付けられるパラメータは、暗号化されます。暗号化ボタンやその関連情報を変更するたびに、そのボタンを使用するウェブページを更新する必要があります。
- クリアテキストボタン (`BUTTONCODE=CLEARTEXT`) は、PayPal 上に保存されません。この種類のボタンに関連付けられるパラメータは、暗号化されません。クリアテキストボタンは、パラメータの値をいつでも変更できるので、動的に使用できます。ただし、クリアテキストボタンを使用する場合は、重要な情報が改ざんされたり、盗まれたりする恐れがある点に注意してください。

**注：** ホスト型ボタン (`BUTTONCODE=HOSTED`) は、ウェブペイメントプラスではサポートされていません。使用するとエラーが返されます。

ボタンマネージャ API の詳細については、“[“`BMCreateButton` API オペレーション”](#)”(55 ページ) を参照してください。

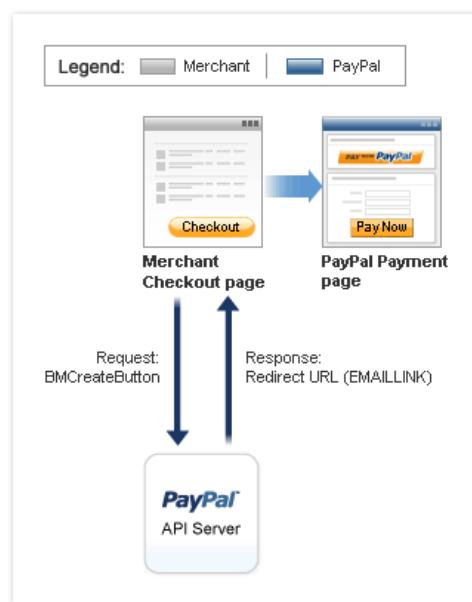
## ウェブペイメントプラスの支払いでのボタンマネージャ APIの使用

ウェブサイトにチェックアウトボタンを作成するには、BMCCreateButton API オペレーションを呼び出します。買い手がチェックアウトボタンをクリックすると、PayPalにより PayPal プロウェブペイメントプラス

ウェブペイメントプラスの支払いフローを開始するためのオプションが2つあります。

- レスポンスで返される URL の使用(推奨)
- Form POST の使用

### レスポンスで返される URL の使用(推奨)



レスポンスで EMAILLINK として指定される URL を使って、買い手をリダイレクトして支払いフローを開始することができます。

#### TOKEN の例

```
EMAILLINK=https://securepayments.paypal.com/webapps/HostedSoleSolutionApp/webflow/sparta/hostedSoleSolutionProcess?hosted_button_id=HSSS-GDrPDzuW-ADwkFDMjQmpUK1gTDDr.tv5alaGS61.XWVVB1MTMQEnGNoLakufQb89zTjf6&HOSTEDBUTTONID=HSSS-GDrPDzuW-ADwkFDMjQmpUK1gTDDr.tv5alaGS61.XWVVB1MTMQEnGNoLakufQb89zTjf6&TIMESTAMP=2010-09-15T00:30:35Z&CORRELATIONID=2fc9a340a2356&ACK=Success&VERSION=65.0&BUILD=1500269
```

### ENCRYPTED の例

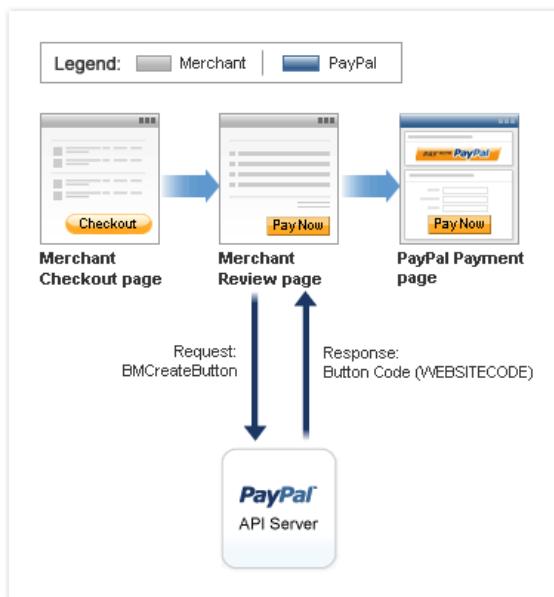
```
EMAILLINK=https://securepayments.paypal.com/webapps/HostedSoleSolutionApp/webflow/sparta/hostedSoleSolutionProcess?cmd=_hosted-payment&business=idc%2dautomation%2duk%2dpro%2dt1%40paypal%2ecom&tax=2&shipping=3&business=K5HHZSMWMCN58&subtotal=11&handling=4&TIMESTAMP=2010-09-15T00:39:06Z&CORRELATIONID=23d12ce1161f2&ACK=Success&VERSION=65.0&BUILD=150269
```

### CLEARTEXT の例

```
EMAILLINK=https://securepayments.paypal.com/webapps/HostedSoleSolutionApp/webflow/sparta/hostedSoleSolutionProcess?cmd=_hosted-payment&business=idc%2dautomation%2duk%2dpro%2dt1%40paypal%2ecom&tax=2&shipping=3&business=K5HHZSMWMCN58&subtotal=11&handling=4&TIMESTAMP=2010-09-15T00:40:32Z&CORRELATIONID=64553e7c7c84&ACK=Success&VERSION=65.0&BUILD=1500269
```

ボタン変数により、フローの外観および買い手に最初に示される情報がコントロールされます。URL はウェブペイメントプラストークンに関連付けられているため、この URL は作成されてから約 2 時間、または支払いが完了するまで、使用できます。

## Form POST の使用



レスポンスで WEBSITECODE を識別して、このコードを使ってレビューページに [今すぐ支払う] ボタンを作成します。買い手がこのボタンをクリックすると、買い手は PayPal がホストする支払いページにリダイレクトされます。URL と同様、このボタンは約 2 時間、または支払いが完了するまで、使用できます。

## APIを使用したウェブサイトの実装

ウェブペイメントプラスの支払いでのボタンマネージャ APIの使用

### TOKEN の例

```
WEBSITECODE=<form  
action="https://securepayments.paypal.com/webapps/HostedSoleSolutionApp/web  
flow/sparta/hostedSoleSolutionProcess" method="post">  
<input type="hidden" name="hosted_button_id" value="HSSS-GDrPDzuW-  
ADwkFDMjQmpUK1gTDdR.tv5alaGS61.XWVVB1MTMQEnGNoLakufQb89zTjf6">  
<input type="image"  
src="https://www.paypal.com/en_US/i(btn/btn_auto_billing_LG.gif" border="0"  
name="submit" alt="PayPal - The safer, easier way to pay online.">  
  
</form>
```

### ENCRYPTED の例

```
WEBSITECODE=<form  
action="https://securepayments.paypal.com/webapps/HostedSoleSolutionApp/web  
flow/sparta/hostedSoleSolutionProcess" method="post">  
<input type="hidden" name="encrypted" value="BEGIN PKCS7.....END PKCS7">  
<input type="image"  
src="https://www.paypal.com/en_US/i(btn/btn_auto_billing_LG.gif" border="0"  
name="submit" alt="PayPal - The safer, easier way to pay online.">  
  
</form>
```

### CLEARTEXT の例

```
WEBSITECODE=<form  
action="https://securepayments.paypal.com/webapps/HostedSoleSolutionApp/web  
flow/sparta/hostedSoleSolutionProcess" method="post">  
<input type="hidden" name="cmd" value="_hosted-payment">  
<input type="hidden" name="business" value="test1@paypal.com">  
<input type="hidden" name="tax" value="2">  
<input type="hidden" name="shipping" value="3">  
<input type="hidden" name="business" value="K5HHZSMWMCN58">  
<input type="hidden" name="subtotal" value="11">  
<input type="hidden" name="paymentaction" value="sale">  
<input type="hidden" name="handling" value="4">  
<input type="image"  
src="https://www.paypal.com/en_US/i(btn/btn_auto_billing_LG.gif" border="0"  
name="submit" alt="PayPal - The safer, easier way to pay online.">  
  
</form>
```

**注：** PayPal支払いページには、チェックアウトフローを完了するために「今すぐ支払う」と指定されたボタンが表示されます。PayPalページの[今すぐ支払う]ボタンは、BMCCreateButton APIオペレーションによってレビューページに作成された[今すぐ支払う]ボタンとは異なります。混乱を避けるため、後者のURLを BUTTONIMAGEURL で変更する必要がある場合があります。BUTTONIMAGEURLでURLを指定しない場合、このボタンにはデフォルトの「今すぐ支払う」が使用されます。

## 公開/秘密鍵を使ったボタンの暗号化

暗号化されたウェブペイメントを使用すると、生成した、または手動で記述した支払いボタンの保護に役立ちます。暗号化されたウェブペイメントは、価格情報を含むHTMLボタンコードを暗号化することによって、コードを保護します。暗号化されたウェブペイメントを使用してHTMLボタンコードを保護すると、悪意のある第三者がコードを変更して不正な支払いを作成することができません。詳細については、[67 ページの第8章「暗号化されたウェブペイメントを使用したボタンの保護」](#)を参照してください。

## ウェブペイメントプラスの支払い開始の例

次の例は、BUTTONCODE=TOKENを使用したNVPパラメータです。ウェブペイメントプラスの支払いフローを開始するためのURLを作成できます。

```
...
BUTTONCODE=TOKEN
BUTTONTYPE=PAYOUTMENT
BUTTONIMAGEURL=https://www.paypal.com/en_US/i/btn/btn_billing.gif
L_BUTTONVAR0=subtotal=11
L_BUTTONVAR1=tax=2
L_BUTTONVAR2=shipping=3
L_BUTTONVAR3=handling=4
L_BUTTONVAR4=first_name=Bob
L_BUTTONVAR5=last_name=Jones
L_BUTTONVAR6=address1=Gardens
L_BUTTONVAR7=address2=99343
L_BUTTONVAR8=city=Paris
L_BUTTONVAR9=state=Alsace
L_BUTTONVAR10=zip=75002
L_BUTTONVAR11=country=FR
L_BUTTONVAR12=billing_first_name=BobBilling
L_BUTTONVAR13=billing_last_name=JonesBilling
L_BUTTONVAR14=billing_address1=5088 - 061 Craven Hill Gardens
L_BUTTONVAR15=billing_address2=Apt# 199343
L_BUTTONVAR16=billing_city=Wolverhampton
L_BUTTONVAR17=billing_state=West Midlands
L_BUTTONVAR18=billing_zip=W12 4LQ
L_BUTTONVAR19=billing_country=GB
L_BUTTONVAR20=night_phone_a=408
```

## APIを使用したウェブサイトの実装

ウェブペイメントプラスの支払いでのボタンマネージャ APIの使用

```
L_BUTTONVAR21=night_phone_b=398
L_BUTTONVAR22=night_phone_c=3065
L_BUTTONVAR23=notify_url=www.yourcompany.com
L_BUTTONVAR24=custom=custom1
L_BUTTONVAR25=cancel_return=http://www.cancel_return.com
L_BUTTONVAR26=paymentaction=sale
L_BUTTONVAR27=currency_code=GBP
L_BUTTONVAR28=invoice=123456789
L_BUTTONVAR29=lc=GB
L_BUTTONVAR30=showBillingAddress=false
L_BUTTONVAR31=showShippingAddress=false
L_BUTTONVAR32=showBillingEmail=true
L_BUTTONVAR33=showBillingPhone=true
L_BUTTONVAR34=showCustomerName=true
L_BUTTONVAR35=showCardInfo=true
L_BUTTONVAR36=showHostedThankyouPage=true
L_BUTTONVAR37=bn=GBD
L_BUTTONVAR38=cbt=Merchant ABCD
L_BUTTONVAR39=address_override=false
L_BUTTONVAR40=cpp_header_image=Red
L_BUTTONVAR41=logoText=YourCompanyLogo
L_BUTTONVAR42=logoImage=http://yourcompanyimages.com/logo.gif
L_BUTTONVAR43=logoImagePosition=center
L_BUTTONVAR44=logoFont=Arial Bold
L_BUTTONVAR45=logoFontSize=24px
L_BUTTONVAR46=logoFontColor=#f0ff0f
L_BUTTONVAR47=bodyBgImg=sdf
L_BUTTONVAR48=bodyBgColor=#AEAEAE
L_BUTTONVAR49=headerHeight=70px
L_BUTTONVAR50=headerBgColor=#4B6BA1
L_BUTTONVAR51=PageTitleTextColor=Blue
L_BUTTONVAR52=PageCollapseBgColor=Blue
L_BUTTONVAR53=PageCollapseTextColor=Yellow
L_BUTTONVAR54=PageButtonBgColor=Blue
L_BUTTONVAR55=PageButtonBgColor=Blue
L_BUTTONVAR56=orderSummaryBgColor=#EDF2F7
L_BUTTONVAR57=orderSummaryBgImage=http://teamworks/scr_bg_ordersummary.jpg
L_BUTTONVAR58=footerTextColor=#333333
L_BUTTONVAR59=footerTextlinkColor=#00f00f
L_BUTTONVAR60=template=templateC
L_BUTTONVAR61=return=http://www.yourcompany.com
```

## BMCreateButton API オペレーション

BMCreateButton API オペレーションを使用して、ウェブペイメントプラスのチェックアウトボタンを作成します。

- [BMCreateButton リクエスト](#)
- [BMCreateButton レスポンス](#)
- [BMCreateButton エラー](#)

### BMCreateButton リクエスト

リクエストのフィールドには、ボタンに関連するメニュー項目を含む、ボタンの特性を指定します。メニュー項目は5つまで指定できます。各項目には、最大10個の選択肢を含めることができます。

#### BMCreateButton リクエストフィールド

**注：** PayPalに渡す値には、`{}<>\\";`は使用できません。

フィールド	説明
METHOD	(必須) BMCreateButton
BUTTONCODE	(オプション)作成するボタンコードの種類。以下のいずれかの値になります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• TOKEN - セキュアなボタンでPayPalに保存されません。ウェブペイメントプラスの支払いフローの開始にのみ使用されます。[今すぐ支払う]ボタンの初期値です。バージョン65.2以降。</li> <li>• ENCRYPTED - 暗号化ボタン。PayPalに保存されません。</li> <li>• CLEARTEXT - 非暗号化ボタン。PayPalに保存されません。</li> </ul>
BUTTONTYPE	(必須)作成するボタンの種類。 PAYMENT - [今すぐ支払う]ボタン。バージョン65.2以降。
L_BUTTONVARn	(オプション) HTML標準ボタン変数。

#### BMCreateButton レスポンス

レスポンスには、ウェブサイトのHTMLおよびメール内のリンクのコードが含まれ、ボタンがPayPalでホストされる場合はIDも含まれます。

##### BMCreateButton レスポンスのフィールド

フィールド	説明
WEBSITECODE	ウェブページのHTMLコード
EMAILLINK	ウェブペイメントプラスの支払いフローのURLのコード
HOSTEDBUTTONID	ウェブペイメントプラストークンのID

#### BMCreateButton エラー

エラーコード番号またはエラーメッセージを検索するには、「[PayPal API エラーコード](#)」ページを参照してください。

# 6

## Sandboxでのインテグレーションの テスト

PayPal Sandbox は、PayPal 機能を仮設定してテストできる独立した環境です。PayPal Sandbox は、実際の PayPal ウェブサイトをほぼ同じ状態で複製したものです。その目的は、テストおよびインテグレーションのために遮蔽環境(shielded environment)をデベロッパーに提供し、実際のサイトで PayPal インテグレーションソリューションをテストする際に起こる可能性のある問題をできるだけ回避することです。PayPal ベースのアプリケーションを実環境に移す前に、アプリケーションを Sandbox でテストして、意図したとおりに機能すること、および PayPal デベロッパー規約によって設定されたガイドラインと基準内で機能することを確認してください。

PayPal Sandbox 使用の詳細については、『[Sandbox ユーザーガイド](#)』を参照してください。

---

### Sandbox アカウントの信用証明書

テストを行う国の **PayPal Sandbox** ビジネスアカウントの作成：

- <https://developer.paypal.com/> で、PayPal デベロッパーサイトにログインします。既存の PayPal アカウントの信用証明書を使ってログインするか、新しいアカウントを登録してください。
- *[Applications] > [Sandbox accounts]* にアクセスし、*[Create Account]* ボタンをクリックします。
- *[Country]* ドロップダウンを使用して実装をテストする国を選択します。
- *[Bank Verified Account]* を *[Yes]* に設定します。
- フォームの残りの部分を完成し、*[Create Account]* をクリックします。

**注：** アカウントの名前は任意の名前を使用でき、*[Login in with PayPal]* ボックスの選択は不要です。

**PayPal Sandbox** ビジネスアカウントの認証：

- 新しく作成した PayPal Sandbox ビジネスアカウントのメールアドレスとパスワードを使用して、Sandbox テストサイト (<https://www.sandbox.paypal.com>) にログインしてください。
- メインの「マイアカウント」ページで [未認証] をクリックします。
- 「認証を実行して支払限度額を解除」ページで [銀行口座の追加] をクリックします。
- すべてのフィールドに架空の情報を入力します。

**注：** [ソートコード] と [口座番号] は一意の値でなければなりません。

- [続行] > [銀行口座の追加] をクリックしてテスト用銀行口座を登録します。

## Sandboxでのインテグレーションのテスト

### Sandboxアカウントの信用証明書

- 「Set-up Bank Funding(銀行口座からの資金追加の設定)」ページを開き、[続行]をクリックします。

- [送信]をクリックして、認証プロセスを完了します。

プロアカウントへのアップグレード:

Sandbox ビジネスアカウントのメールアドレスの横の矢印をクリックし、次にメールアドレスの下方に表示された [Profile] リンクをクリックします(下の図でハイライト表示されている箇所)。

The screenshot shows the left sidebar of the PayPal developer tools with 'Sandbox accounts' selected. The main area is titled 'Sandbox test accounts' and contains instructions for importing existing accounts. It shows one record imported, with the email address 'pp.devdocs.130807-facilitator@gmail.com' listed. The 'Profile' link under the email address is highlighted with a yellow box.

Applications

My apps

**Sandbox accounts**

Tools

IPN simulator

Sandbox test accounts

Import your existing Sandbox test accounts using the email address and password for your PayPal account that you want to use for development. You can import only once. [I](#)

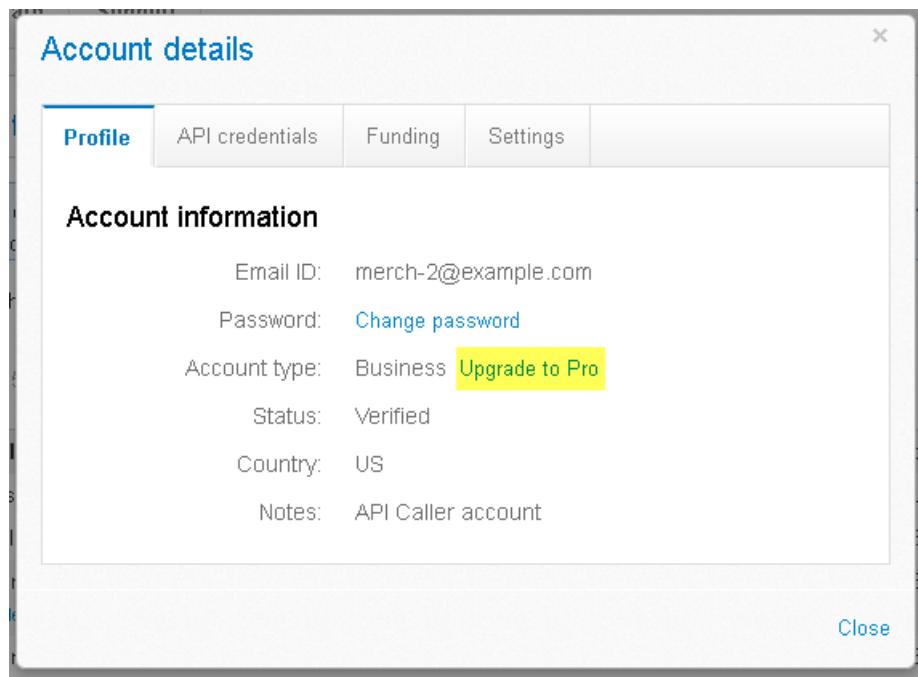
Questions? Check out the [Testing Guide](#). Non-US developers should read our [FAQ](#).

Total records: 1 [Enter Sandbox site](#)

<input type="checkbox"/>	Email address
<input type="checkbox"/>	▼ pp.devdocs.130807-facilitator@gmail.com
<a href="#">Profile</a>   <a href="#">Notifications</a>	

[Delete](#)

[*Sandbox account details*] ウィンドウが開きます。ウィンドウの[Profile]タブから [Upgrade to Pro]を選択します。続いて[Enable]ボタンをクリックします。



#### Sandboxパーソナルアカウントの設定:

デベロッパーサイトの[Applications] > 「Sandbox accounts」ページで、複数のビジネス(売り手)アカウントおよびパーソナル(買い手)アカウントを作成し、Sandboxのテスト取引でこれらのアカウントを使用することができます。詳細は『[Sandbox ユーザーガイド](#)』を参照してください。

Sandboxテストサイトでウェブペイメントプラスの実装をテストする準備ができました。

## インテグレーションと設定のテスト

以下のセクションに、Sandbox 環境でインテグレーションのテストや支払いページの外観の変更をするための情報が記載されています。

- 実装のテスト
- 設定のテスト

### 実装のテスト

Sandbox 環境でインテグレーションをテストするには、“[シンプルなウェブペイメントプラス実装](#)”(15 ページ)で指定された手順にしたがいます。テストの目的のため、以下の変更を Form POST でおこなう必要があります。

1. URL が Sandbox 環境を指すよう変更します。

変更前:

```
<form  
action="https://securepayments.paypal.com/webapps/HostedSoleSolutionApp/  
webflow/sparta/hostedSoleSolutionProcess" method="post">  
<input type="hidden" name="cmd" value="_hosted-payment">
```

変更後:

```
<form  
action="https://securepayments.sandbox.paypal.com/webapps/HostedSoleSolu  
tionApp/webflow/sparta/hostedSoleSolutionProcess" method="post">  
<input type="hidden" name="cmd" value="_hosted-payment">
```

2. business 値を、Sandbox テストサイトの「個人設定」ページの上部で指定されたセキュアなマーチャント ID に変更します。

これによって、テスト目的の Form POST は次のようにになります。

```
<form  
action="https://securepayments.sandbox.paypal.com/webapps/HostedSoleSolu  
tionApp/webflow/sparta/hostedSoleSolutionProcess" method="post">  
<input type="hidden" name="cmd" value="_hosted-payment">  
<input type="hidden" name="subtotal" value="50">  
<input type="hidden" name="business" value="HNZ3QZMCPBAAA">  
<input type="hidden" name="paymentaction" value="sale">  
<input type="hidden" name="return"  
value="https://yourwebsite.com/receipt_page.html">  
<input type="submit" name="METHOD" value="Pay Now">  
</form>
```

## 設定のテスト

支払いページの外観を変更するには、Sandbox テストサイトの「Profile」セクションでカスタマイズの設定および「Settings」ページを変更します。詳細については、“[PayPal アカウント設定の変更](#)”(22 ページ)を参照してください。

## Sandboxでのインテグレーションのテスト

インテグレーションと設定のテスト

# 7

## 注文処理

この章では、いよいよ最後の注文処理について説明します。注文に対応する前の取引のステータスと信頼性の検証に関する情報が含まれます。

### 取引のステータスと信頼性の検証

買い手は、取引を完了すると、PayPalの確認ページか、return変数または「個人設定」セクションの「設定」ページで指定したウェブサイトにリダイレクトされます(“[シンプルなウェブペイメントプラス実装](#)”(15ページ)参照)。指定したウェブサイトにリダイレクトされる際に、取引IDがURLに付加されます。

**注：** その取引IDを確実に復帰URLに付加するには、PayPalマーチャントアカウントにログインして、[個人設定]を選択します。「個人設定」ページの[ウェブペイメントスタンダードとエクスプレスチェックアウト]で、[設定]を選択し、[自動復帰]がオンになっていることを確認してください。

#### Auto Return for Website Payments

Auto Return for Website Payments brings your buyers back to your website immediately after payment completion. Auto Return applies to PayPal Website Payments, including Buy Now, Donations, Subscriptions and Shopping Cart. [Learn More](#)

Auto Return:  On  
 Off

同じ設定ページで、[支払いデータ転送]がオンになっていることも確認してください。

#### Payment Data Transfer (optional)

Payment Data Transfer allows you to receive notification of successful payments as they are made. The use of Payment Data Transfer depends on your [system configuration](#) and your Return URL. Please note that in order to use Payment Data Transfer, you **must** turn on Auto Return.

Payment Data Transfer:  On  
 Off

リダイレクト(URL プラス取引ID)を受け取ったら、商品を買い手に発送する前に、PayPalで注文が正常に完了したことを検証する必要があります。これをおこなうには、PayPalから送られた確認メールをチェックするか、取引履歴を検証します。また、以下のいずれかの方法を使用できます。

#### 即時支払い通知(IPN)の検証

IPNによって、非同期のサーバーからサーバーへの通信を通してPayPalから送られる、取引の支払いおよびアクティビティに関するメッセージを受信できます。これによって、オンライン支払いを注文対応処理にインテグレートすることができます。

IPNを通じて、以下のメッセージを受け取ります。

- 支払いおよびそのステータス(未決済、完了、または拒否)
- 不正防止管理フィルタのアクション
- 定期支払いアクティビティ
- 与信、チャージバック、異議、支払い取り消し、および払い戻し

取引が処理された後、パラメータ `notify_url` を使用した取引で指定された通知 URL、または PayPal の個人設定で指定された URL に IPN が送られます。IPN で送られた取引 ID、取引金額、および請求書 ID など注文固有のパラメータが、ご自分の注文処理システムの情報と一致することを検証する必要があります。詳細については、『[即時支払い通知\(IPN\)実装ガイド](#)』を参照してください。

## GetTransactionDetails API コールの実行

GetTransactionDetails を使用して、特定の取引に関する情報を取得できます。 PayPal API にインテグレートされていれば、ウェブリダイレクトで返された取引 ID で GetTransactionDetails を呼び出して、注文の信頼性を検証できます。 詳細については、 “GetTransactionDetails API”(75 ページ) を参照してください。

---

## 注文対応

決済金額とステータスの信頼性を検証したら、商品を買い手に発送して注文に対応できます。



# 8

## 暗号化されたウェブペイメントを使用したボタンの保護

暗号化されたウェブペイメントを使用すると、生成した、または手動で記述した支払いボタンの保護に役立ちます。暗号化されたウェブペイメントは、価格情報を含むHTMLボタンコードを暗号化することによって、コードを保護します。暗号化されたウェブペイメントを使用してHTMLボタンコードを保護すると、悪意のある第三者がコードを変更して不正な支払いを作成することができません。

暗号化されたウェブペイメントは、標準の公開鍵暗号方式を使用してコードを保護します。公開鍵および秘密鍵を使用して、支払いボタンのHTMLコードを動的に生成し、ボタンをウェブサイト上で表示する前に支払いの詳細を暗号化することができます。下の表は、暗号化されたウェブペイメントを使用して保護された支払いボタンについて生じるアクションを順に示しています。

表 8.1 暗号化されたウェブペイメントの仕組み

ウェブサイトのアクション	買い手のアクション	PayPalのアクション
ウェブサイトの公開鍵を生成して PayPal にアップロードし、 PayPal の公開鍵証明書をウェブサイトにダウンロードします。  注： このアクションは、ウェブペイメントプラスをウェブサイトに最初に実装するときに一度だけ行います。	支払いボタンの HTML コードを生成します。	
PayPal 公開鍵を使用して生成されたコードを暗号化し、ウェブサイトの秘密鍵を使用して暗号化されたコードに署名します。	公開された PayPal 支払いボタンをクリックします。	以前に PayPal にアップロードされたウェブサイトの公開鍵を使用して、データの信頼性を確認します。
署名付きの暗号化された HTML コードをウェブサイトの支払いボタンとして公開します。		PayPal の秘密鍵を使用して、保護されたボタンコードを復号します。

## 暗号化されたウェブペイメントを使用したボタンの保護

暗号化されたウェブペイメントで使用される公開鍵暗号

表 8.1 暗号化されたウェブペイメントの仕組み

ウェブサイトのアクション	買い手のアクション	PayPalのアクション
		復号されたボタンコードの HTML変数で指定されているよ うに、支払人のブラウザを適切 なPayPalチェックアウト処理に リダイレクトします。

## 暗号化されたウェブペイメントで使用される公開鍵暗号

暗号化されたウェブペイメントでは、公開鍵暗号、つまり非対称暗号方式を使用します。この方法では、暗号化された通信の送信者および受信者が公開鍵を交換して互いのメッセージを復号することにより、セキュリティと利便性が提供されます。公開鍵暗号方式の概要は次のとおりです。

- **公開鍵** - 公開鍵は受信者によって作成され、情報を暗号化および送信する前に送信者に提供されます。公開鍵証明書は、公開鍵と、鍵の作成者や有効期限などの識別情報で構成されます。公開鍵証明書には、証明機関の署名を受けることができます。証明機関は、公開鍵証明書および公開鍵が指定のエンティティに属することを保証する組織です。  
マーチャントとPayPalが互いの公開鍵証明書を交換します。
- **秘密鍵** - 秘密鍵は受信者によって作成され、受信者が保持します。  
マーチャントは秘密鍵を作成し、自社のシステムに保持します。PayPalは自身の秘密鍵を自身のシステムに保持します。
- **暗号化処理** - 送信者は、自分の秘密鍵および受信者の公開鍵を使用して、情報を送信する前に情報を暗号化します。受信者は、自分の秘密鍵および送信者の公開鍵を使用して、受信した情報を復号します。また、この暗号化処理では、公開鍵証明書のデジタル署名を使用して情報の送信者を確認します。  
マーチャントは、自身の秘密鍵およびPayPalの公開鍵を使用してHTMLボタンコードを暗号化します。支払いボタンがクリックされると、PayPalは、自身の秘密鍵およびマーチャントの公開鍵を使用してボタンコードを復号します。

## 暗号化されたウェブペイメントを使用する前に証明書を設定する

暗号化されたウェブペイメントを使用して支払いボタンを保護する前に、以下の手順を実行します。

- OpenSSLを使用した秘密鍵の生成
- OpenSSLを使用した公開鍵証明書の生成
- PayPalアカウントへの公開鍵証明書のアップロード
- PayPalウェブサイトからのPayPal公開鍵証明書のダウンロード

PayPalは、公開鍵ではなく、X.509公開鍵証明書のみを使用します。公開鍵は復号に使用することができますが、鍵の提供元を識別する情報が含まれていません。公開鍵証明書には、公開鍵と共に、鍵の有効期限や所有者などの鍵に関する情報が含まれます。PayPalは、VeriSignなど確立された証明機関からの公開鍵証明書をOpenSSL PEM形式で受け付けます。

OpenSSL (<https://www.openssl.org>)などのオープンソースソフトウェアを使用して、自身の秘密鍵および公開鍵証明書を生成できます。これについては、以下のセクションで詳しく説明します。

## OpenSSLを使用した秘密鍵の生成

openssl プログラムを使用して以下のコマンドを入力し、秘密鍵を生成します。このコマンドによって 1024 ビットの RSA 秘密鍵が生成され、my-prvkey.pem ファイルに保存されます。

```
openssl genrsa -out my-prvkey.pem 1024
```

## OpenSSLを使用した公開鍵証明書の生成

公開鍵証明書は PEM 形式である必要があります。証明書を生成するには、次の openssl コマンドを入力します。このコマンドにより、my-pubcert.pem ファイルに公開鍵証明書が生成されます。

```
openssl req -new -key my-prvkey.pem -x509 -days 365 -out my-pubcert.pem
```

## PayPalアカウントへの公開鍵証明書のアップロード

公開鍵証明書を PayPal アカウントにアップロードするには：

1. 以下のサイトで PayPal アカウントにログインします：  
<https://www.paypal.jp>
2. [個人設定] サブタブをクリックします。
3. [ウェブペイメントソリューションの設定] 列で、[ウェブペイメント証明書] をクリックします。  
「ウェブペイメントの証明書」ページが表示されます。
4. ページの下の方にスクロールし、「公開鍵証明書」セクションの [追加] ボタンをクリックします。  
「証明書の追加」ページが表示されます。
5. [参照] ボタンをクリックし、ローカルコンピュータから PayPal にアップロードする公開鍵証明書を選択します。

**注：** アップロードするファイルは PEM 形式である必要があります。

## 暗号化されたウェブペイメントを使用したボタンの保護

暗号化されたウェブペイメントを使用する前に証明書を設定する

6. [追加]をクリックします。

公開鍵証明書が正しくアップロードされると、「ウェブペイメントの証明書」ページの「公開鍵証明書」セクションに表示されます。

7. PayPalから公開鍵証明書に割り当てられた証明書IDを安全な場所に保管してください。PayPalによって提供される暗号化されたウェブペイメントソフトウェアを使用して支払いボタンを暗号化するには、PayPalから割り当てられた証明書IDが必要です。

## PayPal ウェブサイトからの PayPal 公開鍵証明書のダウンロード

PayPal の公開鍵証明書をダウンロードするには：

1. 以下のサイトで PayPal アカウントにログインします：  
<https://www.paypal.jp>
2. [個人設定] サブタブをクリックします。
3. [販売の設定] 列の [暗号化支払いの設定] リンクをクリックします。
4. 「PayPal 公開鍵証明書」セクションまでスクロールします。
5. [ダウンロード] をクリックし、ローカルコンピュータ上の安全な場所にファイルを保存します。

## 公開鍵証明書の削除

**重要：** 公開鍵証明書を削除すると、関連付けられている証明書 ID はボタンの暗号化において無効になり、その ID を使用してウェブサイトで生成または手動で記述されたボタンは正しく機能しなくなります。

公開鍵証明書を削除するには：

1. 以下のサイトで PayPal アカウントにログインします：  
<https://www.paypal.jp>
2. [個人設定] サブタブをクリックします。
3. [販売の設定] 列の [暗号化支払いの設定] リンクをクリックします。
4. 「PayPal 公開鍵証明書」セクションまでスクロールします。
5. 削除する証明書の横のラジオボタンを選択し、[削除] をクリックします。  
「証明書の削除」ページが表示されます。
6. [削除] ボタンをクリックし、選択した公開鍵証明書を削除することを確認します。

## 暗号化されたウェブペイメントを使用したボタンの保護

暗号化されたウェブペイメントを使用する前に証明書を設定する

### 暗号化されたウェブペイメントを使用して支払いボタンを保護する

暗号化されたウェブペイメントには、生成または記述した支払いボタンを保護する、Java および Microsoft Windows のソフトウェアが含まれます。PayPal にログインして次の場所からソフトウェアをダウンロードしてください。<https://www.paypal.com/us/cgi-bin/webscr?cmd=p/xcl/rec/ewp-code>

ソフトウェアをダウンロードして解凍した後に、秘密鍵、公開鍵証明書、p12 ファイルおよび PayPal の公開鍵証明書を、ソフトウェアがあるフォルダにコピーします。

1. 生成する暗号化ボタンごとに、ウェブペイメントプラスの変数と値の入力ファイルを用意します。変数および値はそれぞれ、以下の例のように独立した行に存在する必要があります。

**注：** cert\_id 変数により、PayPal のウェブサイトにアップロードした公開鍵証明書が識別されます。

```
cert_id=Z24MFU6DSHBXQ
cmd=_xclick
business=sales@company.com
item_number=1234
custom=sc-id-789
amount=500.00
currency_code=USD
tax=41.25
shipping=20.00
address_override=true
address1=123 Main St
city=Austin
state=TX
zip=94085
country=US
no_note=1
cancel_return=http://www.company.com/cancel.htm
```

2. 以下に示す該当の構文を使用して、暗号化ソフトウェアを実行します。

- **Java:** PPEncrypt CertFile PrivKeyFile PPCertFile InputFile OutputFile [Sandbox]
- **Microsoft Windows:** java ButtonEncryption CertFile PKCS12File PPCertFile Password InputFile OutputFile [Sandbox]

引数は以下のとおりです。

- **CertFile:** 公開鍵証明書のパス名
- **PKCS12File:** 公開鍵証明書のPKCS12形式のパス名
- **PPCertFile:** PayPalの公開鍵証明書のコピーのパス名
- **Password:** 公開鍵証明書のPKCS12形式へのパスフレーズ
- **InputFile:** 暗号化されていないウェブペイメントHTML Form変数を含むファイルのパス名
- **OutputFile:** 暗号化された出力のファイル名
- **[Sandbox]:** 暗号化されたウェブペイメントを使用して保護した支払いボタンをPayPal Sandboxでテストするためのオプションの語であるSandbox

3. 暗号化されたコードをウェブサイトにコピーします。

## 保護および暗号化されていないウェブペイメントの拒否

保護および暗号化されたボタンのセキュリティを強化するため、PayPalアカウント個人設定を更新して、保護および暗号化されていない支払いを拒否します。

保護および暗号化されていないウェブペイメントスタンダードボタンからの支払いを拒否するには：

1. 以下のサイトで PayPalアカウントにログインします：  
<https://www.paypal.jp>
2. [個人設定]サブタブをクリックします。
3. [販売の設定]列の[暗号化支払いの設定]リンクをクリックします。
4. 「暗号化されたウェブペイメント」セクションまでスクロールします。
5. [暗号化されていないウェブペイメントを拒否]の横にある[オン]のラジオボタンを選択します。
6. ページ下部までスクロールし、[保存]をクリックします。

## 暗号化されたウェブペイメントを使用したボタンの保護

暗号化されたウェブペイメントを使用する前に証明書を設定する

# A

## オプションの API オペレーション

取引 ID を使用すると、多数の PayPal API オペレーションを使用することができます。ウェブペイメントプラスでもっともよく利用されている API は、次のとおりです。

- [GetTransactionDetails API](#)
- [RefundTransaction API](#)
- [DoCapture API](#)

---

### GetTransactionDetails API

特定の取引に関する情報を取得します。

- [GetTransactionDetails リクエスト](#)
- [GetTransactionDetails レスポンス](#)

#### GetTransactionDetails リクエスト

表 A.1 GetTransactionDetails リクエストのフィールド

フィールド	説明
METHOD	GetTransactionDetails である必要があります。
TRANSACTIONID	(必須) 取引に固有の識別子。 <b>注：</b> 一部の種類の取引の詳細は、GetTransactionDetails では取得することができません。たとえば、銀行振替の引き出しの詳細を取得することはできません。 文字の長さと制限 - 半角英数字 17 文字。

## GetTransactionDetails レスポンス

**注：** 必ずしも GetTransactionDetailsResponse レスポンスの正式な構造で定義されたすべてのフィールドが返されるわけではありません。そのフィールドに対応するデータを PayPal が記録している場合に限り、レスポンスでデータが返されます。

- 受取人情報フィールド
- 支払情報フィールド
- 支払名フィールド
- 住所フィールド
- 支払い情報フィールド
- 支払い商品情報フィールド
- 支払い商品フィールド
- オークションフィールド
- 購読条件フィールド

### 受取人情報フィールド

**表 A.2 受け取り情報フィールド**

フィールド	説明
RECEIVERMAIL	支払いの受取人(売り手)のメインメールアドレス。 メインのメールアドレス以外のアドレスに支払いが送られる場合でも、 RECEIVER の値はメインのメールアドレスとなります。 <b>文字の長さと制限 - 半角英数字 127 文字</b>
RECEIVERID	支払いの受取人(売り手)の固有のアカウント ID。この値は、受取人の紹介 ID の値と同じです。

## 支払情報フィールド

表 A.3 支払情報フィールド

フィールド	説明
EMAIL	支払人のメールアドレス。 文字の長さと制限 - 半角 127 文字
PAYERID	固有の PayPal 顧客アカウント識別番号。 文字の長さと制限 - 半角英数字 13 文字。
PAYERSTATUS	支払人のステータス。有効な値は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• verified</li> <li>• unverified</li> </ul> 文字の長さと制限 - 半角英字 10 文字。
SHIPTOCOUNTRYCODE	ISO 標準 3166 の 2 文字の国コード形式で表された、支払人の居住国。 文字の長さと制限 - 半角 2 文字
PAYERBUSINESS	支払人の事業者名。 文字の長さと制限 - 半角 127 文字

## 支払名フィールド

表 A.4 支払名フィールド

フィールド	説明
SALUTATION	支払人の敬称。 文字の長さと制限 - 半角 20 文字
FIRSTNAME	支払人の名。 文字の長さと制限 - 半角英数字 25 文字。
MIDDLENAME	支払人のミドルネーム。 文字の長さと制限 - 半角英数字 25 文字。
LASTNAME	支払人の姓。 文字の長さと制限 - 半角英数字 25 文字。
SUFFIX	支払人のサフィックス。 文字の長さと制限 - 半角英数字 12 文字。

## オプションのAPIオペレーション

### GetTransactionDetails API

#### 住所フィールド

表 A.5 住所フィールド

フィールド	説明
ADDRESSOWNER	この住所を管理する eBay の会社。 有効な値は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"><li>• eBay</li><li>• PayPal</li></ul>
ADDRESSSTATUS	PayPal に記録されている住所のステータス。 有効な値は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"><li>• none</li><li>• Confirmed</li><li>• Unconfirmed</li></ul>
SHIPTONAME	この住所が登録されているメンバーの名前。 文字の長さと制限 - 半角 32 文字。
SHIPTOSTREET	住所の 1 行目。 文字の長さと制限 - 半角 100 文字。
SHIPTOSTREET2	住所の 2 行目。 文字の長さと制限 - 半角 100 文字。
SHIPTOCITY	市区町村の名前。 文字の長さと制限 - 半角 100 文字。
SHIPTOSTATE	都道府県。 文字の長さと制限 - 半角 40 文字。
SHIPTOZIP	米国の ZIP コードまたはその他の国の郵便番号。 文字の長さと制限 - 半角 40 文字。
SHIPTOCOUNTRYCODE	正式国名。 文字の長さと制限 - 半角 20 文字。
SHIPTOPHONENUMBER	国コード。 文字の長さと制限 - 半角 2 文字。
SHIPTOPHONENUM	国コード。 文字の長さと制限 - 半角 2 文字。

## 支払い情報フィールド

**表 A.6 支払い情報フィールド**

フィールド	説明
TRANSACTIONID	支払いの一意の取引 ID。 文字の長さと制限: 半角 17 文字。
PARENTTRANSACTIONID	親取引または関連取引の識別番号。以下のいずれかの取引タイプの場合、このフィールドにデータが自動入力されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 取り消し - 与信取引に対する売上げ。</li> <li>● 取り消し - 取引の再与信。</li> <li>● 注文の売上げ - ParentTransactionID の値は、元の OrderID です。</li> <li>● 注文の与信 - ParentTransactionID の値は、元の OrderID です。</li> <li>● 注文与信に対する売上げ。</li> <li>● 注文の無効化 - ParentTransactionID の値は、元の OrderID です。</li> </ul> 文字の長さと制限 - 16 桁で xxxx-xxxx-xxxx-xxxx の形式
RECEIPTID	受け取り識別番号 文字の長さと制限 - 16 桁で xxxx-xxxx-xxxx-xxxx の形式
TRANSACTIONTYPE	取引タイプ 有効な値: <ul style="list-style-type: none"> <li>● cart</li> <li>● express-checkout</li> </ul> 文字の長さと制限 - 半角 15 文字
PAYMENTTYPE	支払いが即時におこなわれるか遅れておこなわれるかを示します。 文字の長さと制限 - 半角 7 文字 有効な値: <ul style="list-style-type: none"> <li>● none</li> <li>● eCheck</li> <li>● instant</li> </ul>
ORDERTIME	支払いの時刻 / 日付スタンプ。例: 2006-08-15T17:23:15Z
AMT	マーチャント設定の配送料および税額を含む、最終請求金額。 文字の長さと制限 - いずれの通貨でも \$10,000 USD 相当を超えないこと。通貨記号なし。通貨に関係なく、小数点記号はピリオド(.)を使用し、オプションの桁区切り記号はコンマ(,)を使用します。USD の場合、最大9文字に相当します。
CURRENCYCODE	3 桁の通貨コード。

## オプションのAPIオペレーション

### GetTransactionDetails API

表 A.6 支払い情報フィールド

フィールド	説明
FEEAMT	取引にかかる PayPal 手数料の金額 <b>文字の長さと制限</b> - いずれの通貨でも \$10,000 USD相当を超えないこと。通貨記号なし。通貨に関係なく、小数点記号はピリオド(.)を使用し、オプションの桁区切り記号はコンマ(,)を使用します。USDの場合、最大9文字に相当します。
SETTLEAMT	通貨換算後に PayPal アカウントに入金される金額。
TAXAMT	取引に課される税金。 <b>文字の長さと制限</b> - いずれの通貨でも \$10,000 USD相当を超えないこと。通貨記号なし。通貨に関係なく、小数点記号はピリオド(.)を使用し、オプションの桁区切り記号はコンマ(,)を使用します。USDの場合、最大9文字に相当します。
EXCHANGERATE	通貨換算が発生した場合の外貨換算レート。メインの通貨以外の通貨で請求している場合のみ適用されます。顧客がメインの通貨以外の通貨での支払いを選択した場合、その顧客のアカウントで通貨換算が行われます。 <b>文字の長さと制限</b> - 小数点を含め 17 文字を超えない小数。

表 A.6 支払い情報フィールド

フィールド	説明
PAYMENTSTATUS	<p>支払いのステータス。</p> <p>以下の支払いステータスがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>None</b> - ステータスなし</li> <li>• <b>Canceled-Reversal</b> - 支払い取り消しがキャンセルされました。たとえば、異議でマーチャントに有利な結果となり、取り消しの資金がマーチャントに戻された場合です。</li> <li>• <b>Completed</b> - 支払いが完了し、アカウント残高に正常に入金されました。</li> <li>• <b>Denied</b> - マーチャントが支払いを拒否しました。この状況が発生するのは、支払いが以前に未決済であった場合のみです。未決済の理由としては、PendingReason要素で記述された理由が考えられます。</li> <li>• <b>Expired</b> - この支払いの与信期限に達しています。</li> <li>• <b>Failed</b> - 支払いが成立しませんでした。この状況が発生するのは、支払いが顧客の銀行口座からおこなわれた場合のみです。</li> <li>• <b>In-Progress</b> - 取引は終了していません。たとえば、与信処理中の場合があります。</li> <li>• <b>Partially-Refunded</b> - 支払いの一部が払い戻されました。</li> <li>• <b>Pending</b> - 支払いが未決済です。詳細については、PendingReasonフィールドを参照してください。</li> <li>• <b>Refunded</b> - 支払いを払い戻しました。</li> <li>• <b>Reversed</b> - チャージバックまたはその他のタイプの取り消しにより、支払いは取り消されました。金額がアカウント残高から差し引かれ、買い手に返還されました。支払い取り消しの理由は、ReasonCode要素で指定されます。</li> <li>• <b>Processed</b> - 支払いが受け取られました。</li> <li>• <b>Voided</b> - この取引の与信が取り消されました。</li> </ul>

## オプションのAPIオペレーション

### GetTransactionDetails API

**表 A.6 支払い情報フィールド**

フィールド	説明
PENDINGREASON	<p><b>注：</b> PaymentStatus が Pending の場合のみ、レスポンスで PendingReason が返されます。</p> <p>支払いが未決済の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>none</b> - 未決済の理由なし。</li> <li>● <b>address</b> - 顧客に確認済み配送先が含まれておらず、マーチャントの支払い受領設定がこのような支払いを個別に手動で受領または拒否するよう設定されているため、支払いが未決済です。設定を変更するには、「個人設定」の「設定」セクションに進みます。</li> <li>● <b>authorization</b> - 支払いは、与信処理されているが決済されていないため、未決済です。最初にその資金を回収する必要があります。</li> <li>● <b>echeck</b> - eCheck による支払いがおこなわれたが、まだ決済されていないため支払いが未決済です。</li> <li>● <b>intl</b> - マーチャントが米国以外のアカウントを所有しており、振替の機能がないため支払いが未決済です。「マイアカウント」からこの支払いを手動で受け取るか拒否する必要があります。</li> <li>● <b>multi-currency</b> - 支払われる通貨での残高がなく、また支払い受領設定でこの支払いを自動的に換算して受け取るように設定していません。この支払いを手動で受け取るか拒否する必要があります。</li> <li>● <b>order</b> - この支払いは与信処理されたが決済されていない注文の一部であるため、未決済です。</li> <li>● <b>paymentreview</b> - 支払いが未決済で、リスクについて PayPal が検討中です。</li> <li>● <b>unilateral</b> - まだ登録されていないか確認されていないメールアドレスに対して支払いが行われたため、支払いが未決済です。</li> <li>● <b>verify</b> - マーチャントの認証が終わっていないため、支払いが未決済です。この支払いを受け取るには、アカウントの認証を実行する必要があります。</li> <li>● <b>other</b> - 上記以外の理由で支払いが未決済です。詳しくは、PayPal カスタマーサービスまでお問い合わせください。</li> </ul>

表 A.6 支払い情報フィールド

フィールド	説明
REASONCODE	TransactionType が reversal の場合の取消し理由 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>none</b> - 理由コードなし。</li> <li>• <b>chargeback</b> - 顧客によるチャージバックのため、この取引で支払い取り消しが発生しました。</li> <li>• <b>guarantee</b> - 顧客によって払戻し保証が要求されたため、この取引で支払い取消しが発生しました。</li> <li>• <b>buyer-complaint</b> - 取引に関するクレームが顧客からあったため、この取引で支払い取消しが発生しました。</li> <li>• <b>refund</b> - 顧客に払い戻したため、この取引で支払い取り消しが発生しました。</li> <li>• <b>other</b> - 上記以外の理由により、この取引で支払い取り消しが発生しました。</li> </ul>
PROTECTIONELIGIBILITY	バージョン 64.4 以降、その取引に対して有効な売り手保護の種類。以下の値のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Eligible</b> - 未承認の支払いおよび商品未受領の場合、売り手は PayPal の売り手保護ポリシーによって保護されます。</li> <li>• <b>ItemNotReceivedEligible</b> - 商品未受領の場合、売り手は PayPal の売り手保護ポリシーによって保護されます。</li> <li>• <b>UnauthorizedPaymentEligible</b> - 未承認の支払いの場合、売り手は PayPal の売り手保護ポリシーによって保護されます。</li> <li>• <b>Ineligible</b> - 売り手は売り手保護ポリシーによって保護されません。</li> </ul>

## 支払い商品情報フィールド

表 A.7 支払い商品情報フィールド

フィールド	説明
INVNUM	元の取引で設定した請求書番号。 文字の長さと制限 - 半角英数字 127 文字
CUSTOM	元の取引で設定したカスタムフィールド。 文字の長さと制限 - 半角英数字 127 文字
NOTE	PayPal ウェブペイメントの注記フィールドに顧客が入力したメモ。 文字の長さと制限 - 半角英数字 255 文字
SALESTAX	支払いに対して請求される税額。

## オプションのAPIオペレーション

### GetTransactionDetails API

#### 支払い商品フィールド

**表 A.8 支払い商品フィールド**

フィールド	説明
L_DESCn	n番目の商品の説明。 これらのパラメータは、0から順に指定する必要があります(たとえば、L_DESC0、L_DESC1)。
L_NUMBERn	売り手が設定した商品番号。ショッピングカート取引の場合、PayPalにより商品の番号がHTMLのitem_number変数に付加されます。たとえば、item_number1、item_number2、などとなります。 文字の長さと制限 - 半角英数字127文字。 これらのパラメータは、0から順に指定する必要があります(たとえば、L_NUMBER0、L_NUMBER1)。
L_QTYn	売り手が設定した数量、または顧客が入力した数量。 文字の長さと制限 - 制限なし。
L_AMTn	商品原価。 これらのパラメータは、0から順に指定する必要があります(たとえば、L_AMT0、L_AMT1)。
L_OPTIONSNAMEn	ショッピングカート内の商品のPayPalオプション名。それぞれの名前はオプション値に対応します。商品ごとに複数のオプション名が可能です。 オプション名は、0から順に指定する必要があります(たとえば、L_OPTIONSNAME0、L_OPTIONSNAME1)。
L_OPTIONSVALUEn	ショッピングカート内の商品のオプション名に対応するPayPalオプション値。 オプション名は、0から順に指定する必要があります(たとえば、L_OPTIONSVALUE0、L_OPTIONSVALUE1)。

#### オークションフィールド

**表 A.9 オークションフィールド**

フィールド	説明
BUYERID	顧客のオークションID
CLOSINGDATE	オークション終了日
MULTIITEM	複数商品のオークション支払いに使用されるカウンタ

## 購読条件フィールド

**表 A.10 購読条件フィールド**

フィールド	説明
AMT	1回の支払いに購読者に請求される金額。 文字の長さと制限 - 制限なし
PERIOD	購読者に請求が行われる期間。 文字の長さと制限 - 制限なし

## RefundTransaction API

取引に関連する PayPal アカウント保有者への払い戻しをおこないます。

- RefundTransaction リクエスト
- RefundTransaction レスポンス

## RefundTransaction リクエスト

**表 A.11 RefundTransaction リクエストフィールド**

フィールド	説明
METHOD	RefundTransaction である必要があります。
TRANSACTIONID	(必須) 取引に固有の識別子。 文字の長さと制限 - 半角英数字 17 文字。
REFUNDTYPE	(必須) 実行する払い戻しのタイプ <ul style="list-style-type: none"> <li>• Other</li> <li>• Full</li> <li>• Partial</li> </ul>
AMT	払い戻し金額。RefundType が Partial の場合は、金額が必要です。 <b>注：</b> RefundType が Full の場合は、金額を設定しないでください。
NOTE	(オプション) 払い戻しに関するカスタムメモ。 文字の長さと制限 - 半角英数字 255 文字。

## RefundTransaction レスポンス

表 A.12 RefundTransaction レスポンスのフィールド

フィールド	説明
REFUNDTRANSACTIONID	払い戻しの固有の取引 ID。 文字の長さと制限 - 半角英数字 17 文字。
FEEREFUNDAMT	元の支払い受取人に払い戻される取引手数料。
GROSSREFUNDAMT	元の支払人に払い戻される金額。
NETREFUNDAMT	この払い戻しを行うために、元の支払い受取人の PayPal 残高から差し引かれる金額。

## DoCapture API

与信に対する売上げ処理をします。

- DoCapture リクエスト
- DoCapture レスポンス

## DoCapture リクエスト

表 A.13 DoCapture リクエストのフィールド

フィールド	説明
METHOD	(必須)DoCapture である必要があります。
AUTHORIZATIONID	(必須)回収する支払いの承認 ID 番号。これは、DoExpressCheckoutPayment または DoDirectPayment から返される取引 ID です。 文字の長さと制限 - 最大で半角 19 文字。
AMT	(必須)売上げる金額。 制限 - 値は正の数値で、いずれの通貨でも \$10,000 USD 相当額を超えることはできません。通貨記号はありません。小数点以下 2 桁とし、小数点記号はピリオド(.)を使用し、オプションの桁区切り記号はコンマ(,)を使用しなければなりません。
CURRENCYCODE	(オプション)3 桁の通貨コード 初期設定 : USD

**表 A.13 DoCapture リクエストのフィールド**

フィールド	説明
COMPLETETYPE	(必須) 値 Complete は、これが最後の売上げであることを示します。 値 NotComplete は、さらに売上げる予定があることを示します。 <b>注：</b> Complete の場合、承認済みの取引の残額は自動的に無効になり、残りの未決済の承認はすべて無効になります。 文字の長さと制限 - 半角英数字 12 文字。
INNUM	(オプション) 取引履歴でマーチャントおよび顧客に対して表示される請求書番号またはその他の識別番号。 <b>注：</b> DoCapture のこの値は、以前に DoAuthorisation に設定された値を上書きします。 <b>注：</b> 売上げる与信が基本承認ではなく注文承認の場合のみ、この値が記録されます。 文字の長さと制限 - 半角英数字 127 文字
NOTE	(オプション) この決済に関して支払へのメールおよび取引履歴に表示される情報注記。 文字の長さと制限 - 半角 255 字。

表 A.13 DoCapture リクエストのフィールド

フィールド	説明
SOFTDESCRIPTOR	<p>(オプション)このソフト記述子は、顧客のクレジットカード利用明細書に渡される取引ごとの支払いの説明です。</p> <p>ソフト記述子フィールドの値が入力されると、記述子全体は、顧客の利用明細書に以下の形式で表示されます。</p> <p>&lt;PP *   PAYPAL *\&gt;&lt;支払い受取り設定で設定されたマーチャント記述子\&gt;&lt;空白1つ\&gt;&lt;ソフト記述子\&gt;</p> <p>ソフト記述子に使用できる文字は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 英数字</li> <li>• -(ダッシュ)</li> <li>• *(アスタリスク)</li> <li>• .(ピリオド)</li> <li>• {空白}</li> </ul> <p>他の文字(たとえば“,”)を使用すると、エラーコードが返されます。</p> <p>ソフト記述子には電話番号を含めません。電話番号は、マーチャントのカスタマーサービス番号とPayPalのカスタマーサービス番号の間で切り替えられる可能性があるためです。</p> <p>ソフト記述子全体の文字数は最大で22文字です。このうち4文字または8文字は、データ形式に表示されるPayPal接頭辞によって使用されます。したがって、APIリクエストで渡されるソフト記述子の最大文字数は次のように求められます。</p> $22 - \text{len}(<\text{PP *   PAYPAL *}\>) - \text{len}(<\text{支払い受取り設定で設定された記述子}\> + 1)$ <p>たとえば、次のような状況を仮定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• PayPal接頭辞トグルがPayPalの管理ツールでPAYPAL*に設定されている。</li> <li>• マーチャント記述子が支払い受け取り設定でEBAYに設定されている。</li> <li>• ソフト記述子はJanesFlowerGifts LLCとして渡される。</li> </ul> <p>この結果、クレジットカードの記述子の文字列は次のようになります。</p> <p>PAYPAL*EBAY JanesFlow</p>

## DoCapture レスポンス

- DoCapture レスポンスのフィールド
- PayerInfo タイプのフィールド
- 配送先住所フィールド
- 支払人名フィールド

**注：**バージョン56.0以降のDoCapture APIを使用する場合、返り値が保証されるのは、与信ID、取引ID、取引タイプ、支払日、総額、および支払いステータスのみです。他のフィールドの値が必要で、その値が返されない場合は、あとでGetTransactionDetailsをコールするか、レポートメカニズムを使用して値を取得できます。

### DoCapture レスポンスのフィールド

表 A.14 DoCapture レスポンスのフィールド

フィールド	説明
AUTHORIZATIONID	リクエストで指定した与信識別番号。 文字の長さと制限 - 最大で半角 19 文字。

### PayerInfo タイプのフィールド

表 A.15 PayerInfo タイプのフィールド

フィールド	説明
EMAIL	支払人のメールアドレス。 文字の長さと制限 - 半角 127 文字。
PAYERID	固有の PayPal 顧客アカウント識別番号。 文字の長さと制限 - 半角英数字 13 文字。
PAYERSTATUS	支払人のステータス。有効な値は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• verified</li> <li>• unverified</li> </ul> 文字の長さと制限 - 半角英字 10 文字。
COUNTRYCODE	ISO 標準 3166 の 2 文字の国コード形式で表された、支払人の居住国。 文字の長さと制限 - 半角文字 2 文字。
BUSINESS	支払人の事業者名。 文字の長さと制限 - 半角 127 文字。

## 配送先住所フィールド

表 A.16 配送先住所フィールド

フィールド	説明
ADDRESSSTATUS	PayPal に記録されている住所のステータス。 有効な値は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"><li>● none</li><li>● Confirmed</li><li>● Unconfirmed</li></ul>
SHIPTONAME	この住所が登録されている個人の名前。 文字の長さと制限 - 半角 32 文字。
SHIPTOSTREET	住所の 1 行目。 文字の長さと制限 - 半角 100 文字。
SHIPTOSTREET2	住所の 2 行目。 文字の長さと制限 - 半角 100 文字。
SHIPTOCITY	市区町村の名前。 文字の長さと制限 - 半角 40 文字。
SHIPTOSTATE	都道府県。 文字の長さと制限 - 半角 40 文字。
SHIPTOZIP	米国の住所の場合のみ必須です。 米国の ZIP コードまたはその他の国の郵便番号。 文字の長さと制限 - 半角 20 文字。
SHIPTOCOUNTRYCODE	国コード。 文字の長さと制限 - 半角文字 2 文字。

## 支払人名フィールド

表 A.17 支払人名フィールド

フィールド	説明
SALUTATION	支払人の敬称。 文字の長さと制限 - 半角 20 文字。
FIRSTNAME	支払人の名。 文字の長さと制限 - 半角 25 文字。
MIDDLENAME	支払人のミドルネーム。 文字の長さと制限 - 半角 25 文字。
LASTNAME	支払人の姓。 文字の長さと制限 - 半角 25 文字。
SUFFIX	支払人のサフィックス。 文字の長さと制限 - 半角 12 文字。

## オプションのAPIオペレーション DoCapture API



# ウェブペイメントスタンダードから ウェブペイメントプラスへの移行

ウェブペイメントスタンダードからウェブペイメントプラスに移行する場合、次の変更が必要です。

1. FORMタグで、action属性のcmd値を次のように変更します。

変更前:

```
<form action="https://www.paypal.com/cgi-bin/webscr" method="post">
<input type="hidden" name="cmd" value="_xclick">
```

to:

```
<form
action="https://securepayments.paypal.com/webapps/HostedSoleSolutionApp/
webflow/sparta/hostedSoleSolutionProcess?cmd=_hosted-payment"
method="post"><input type="hidden" name="cmd" value="_hosted-payment">
```

2. HTML変数amountをsubtotalに変更します。

**注:** ウェブペイメントスタンダードにはそれぞれamountおよびquantityの値がありますが、ウェブペイメントプラスではsubtotalのみを使用します。小計には、適用する割引や商品の数量を考慮した上で、買い手に請求する金額を含めるようにしてください。

3. 色や背景など、支払いフローをカスタマイズしている場合は、ウェブペイメントプラスについてそれらの設定を再度行う必要があります。支払いページの外観のカスタマイズについては、[21ページの第3章「PayPal支払いページのカスタマイズ」](#)を参照してください。

## サンプルコードの比較

以下で、ウェブペイメントスタンダードのコードとウェブペイメントプラスのコードを比較します。

**注：** 下記のサンプルで、ウェブペイメントスタンダードについて、amountおよびquantityがそれぞれ10と2に指定されていることに注意してください。ウェブペイメントプラスについて、subtotalが20となっていますが、これは上記のamountとquantityの積です。これは太字で表示されています。

### サンプルのウェブペイメントスタンダードのコード

```
<form
action="https://securepayments.paypal.com/webapps/HostedSoleSolutionApp/web
flow/sparta/hostedSoleSolutionProcess" method="post">
<input type="hidden" name="cmd" value="_xclick">
<input type="hidden" name="business" value="seller@designerotos.com">
<input type="hidden" name="amount" value="10">
<input type="hidden" name="quantity" value="2">
<input type="hidden" name="tax" value="1">
<input type="hidden" name="currency_code" value="USD">
<input type="hidden" name="invoice" value="MEM32507725">
<!-- Enable override of payer's stored PayPal address. -->
<input type="hidden" name="address_override" value="1">
<!-- Set prepopulation variables to override stored address. -->
<input type="hidden" name="first_name" value="John">
<input type="hidden" name="last_name" value="Doe">
<input type="hidden" name="address1" value="345 Lark Ave">
<input type="hidden" name="city" value="San Jose">
<input type="hidden" name="state" value="CA">
<input type="hidden" name="zip" value="95121">
<input type="hidden" name="country" value="US">
<input type="hidden" name="bn" value="CC_Partner_WPS">
<input type="hidden" name="notify_url" value="https://www.paypal.com/IPN/">
<input type="image" name="submit" border="0"
src="https://www.paypal.com/img.gif ">
</form>
```

### サンプルウェブペイメントプラスコード

```
<form
action="https://securepayments.paypal.com/webapps/HostedSoleSolutionApp/web
flow/sparta/hostedSoleSolutionProcess?cmd=_hosted-payment"
method="post"><input type="hidden" name="cmd" value="_hosted-payment">
<input type="hidden" name="business" value="HNZ3QZMCPBAAA">
<input type="hidden" name="subtotal" value="20">
<input type="hidden" name="paymentaction" value="sale">
<input type="hidden" name="currency_code" value="USD">
<input type="hidden" name="invoice" value="MEM32507725">
<input type="hidden" name="template" value="TemplateB">
<!-- Enable override of payer's stored PayPal address. -->
<input type="hidden" name="address_override" value="true">
<input type="hidden" name="showShippingAddress" value="false">
```

```
<!-- Set prepopulation variables to override stored address. -->
<input type="hidden" name="first_name" value="John">
<input type="hidden" name="last_name" value="Doe">
<input type="hidden" name="address1" value="345 Lark Ave">
<input type="hidden" name="city" value="San Jose">
<input type="hidden" name="state" value="CA">
<input type="hidden" name="zip" value="95121">
<input type="hidden" name="country" value="US">
<input type="hidden" name="billing_first_name" value="John">
<input type="hidden" name="billing_last_name" value="Doe">
<input type="hidden" name="billing_address1" value="345 Lark Ave">
<input type="hidden" name="billing_city" value="San Jose">
<input type="hidden" name="billing_state" value="CA">
<input type="hidden" name="billing_zip" value="95121">
<input type="hidden" name="billing_country" value="US">
<input type="hidden" name="bn" value="CC_Partner_H3S">
<input type="hidden" name="notify_url" value="https://www.paypal.com/IPN/">
<input type="image" name="submit" border="0"
src="https://www.paypal.com/img.gif ">
</form>
```

## ウェブペイメントスタンダードからウェブペイメントプラスへの移行

# C

## エラーメッセージ

エラーコード番号またはエラーメッセージを検索するには、「[PayPal API エラーコード](#)」ページを参照してください。

エラーメッセージ

# D

## 通貨コード

次の表は、PayPal でサポートされるすべての通貨を一覧にしたものです。

表 D.1 通貨コード

通貨コード	国名
AUD	オーストラリアドル
CAD	カナダドル
CHF	スイスフラン
CZK	チェコクローナ
DKK	デンマーククローネ
EUR	ユーロ
GBP	英ポンド
HKD	香港ドル
HUF	ハンガリーフォリント
JPY	日本円
NOK	ノルウェークローネ
NZD	ニュージーランドドル
PLN	ポーランドズロティ
SEK	スウェーデンクローナ
SGD	シンガポールドル
USD	米国ドル



# 索引

## A

address\_override 17  
address1 17  
address2 17  
API インテグレーション 49

## B

billing\_address1 17  
billing\_address2 17  
billing\_city 17  
billing\_country 17  
billing\_first\_name 17  
billing\_last\_name 17  
billing\_state 17  
billing\_zip 17  
BMCreateButton API 49  
BMCreateButton API オペレーション 55  
BMCreateButton エラー 56  
BMCreateButton リクエスト 55  
BMCreateButton リクエストフィールド 55  
BMCreateButton レスポンス 56  
BMCreateButton レスポンスのフィールド 56  
bn 17  
bodyBgColor 39  
bodyBgImg 39  
business 17  
BUTTONCODE 55  
BUTTONCODE=CLEARTEXT 49  
BUTTONCODE=ENCRYPTED 49  
BUTTONCODE=HOSTED 49  
BUTTONCODE=TOKEN 49  
BUTTONTYPE 55  
BUTTONTYPE=PAYOUT 49  
buyer\_email 17

## C

cancel\_return 18  
cbt 18

city 18  
CLEARTEXT 49  
country 18  
currency\_code 18  
custom 18

## D

DoCapture API 86

## E

EMAILLINK 47, 50, 56  
ENCRYPTED 49

## F

first\_name 18  
footerTextColor 39

## G

GetTransactionDetails API 65, 75

## H

handling 18  
headerBgColor 39  
headerHeight 39  
HOSTED 49  
HOSTEDBUTTONID 56  
HTML インテグレーション 15  
HTTP 変数 17

## I

iFrame 43  
iFrame の API インテグレーション 46  
iFrame の手動インテグレーション 44  
InputFile 73  
invoice 18

**L**

L\_BUTTONVAR 55  
last\_name 18  
lc 18  
logoFont 39  
logoFontColor 40  
logoFontSize 40  
logoImage 40  
logoImagePosition 40  
logoText 40

**M**

METHOD 55

**N**

night\_phone\_a 18  
night\_phone\_b 18  
night\_phone\_c 18  
notify\_url 18

**O**

orderSummaryBgColor 40  
orderSummaryBgImage 40  
OutputFile 73

**P**

pageButtonBgColor 40  
pageButtonTextColor 40  
pageTitleTextColor 40  
paymentaction 18  
PCI コンプライアンス 11  
PPCertFile 73

**R**

RefundTransaction API 85  
return 19

**S**

sectionBorder 40  
shipping 19

showBillingAddress 40  
showBillingEmail 40  
showBillingPhone 40  
showCustomerName 40  
showHostedThankyouPage 40  
showShippingAddress 41  
state 19  
subheaderText 41  
subtotal 19

**T**

tax 19  
template 41  
TOKEN 49

**W-Z**

WEBSITECODE 47, 51, 56  
zip 19  
暗号化 53  
暗号化処理 68  
暗号化ボタン 49  
以前のバージョン 32  
外観 31  
概要 11  
公開鍵 53, 68  
公開鍵証明書  
削除 71  
生成 69  
アップロード 69  
ダウンロード 71  
支払いページのカスタマイズ 21  
取引のステータス 63  
設定 23  
即時支払い通知 (IPN) 64  
注文処理 63  
注文の概要列 37  
通貨コード 99  
背景 37  
秘密鍵 53, 68  
生成 69  
保存して公開 32

**ア**

アカウント設定の変更 22

## イ

インテグレーション  
API 49  
HTML 15  
インテグレーションのテスト 57

## エ

エクスプレス チェックアウト 13  
エラーメッセージ 97

## オ

オプションの API オペレーション 75

## シ

シンプルなインテグレーション 15

## タ

タイトル 37

## テ

テンプレートのカスタマイズ 37

## ト

トークンボタン 49

## フ

プレビュー 32

## ヘ

ヘッダー 37

## ホ

ボタンのホスティング 49  
暗号化ボタン 49  
トークンボタン 49  
ボタンマネージャ API 49

